

消防年報



三重県
菰野町消防本部
(令和4年版)

はじめに

本書は、菰野町における消防情勢と消防諸般の状況を記録し、将来の消防行政運営上の指針とするために編集しました。

統計資料は特に記載のあるものを除き、令和3年中をもって表しました。

令和4年8月

三重県 こも の ちょう 菰野町消防本部

目 次

消 防 情 勢

菰野町の概要、位置図	1
菰野町消防本部のあゆみ	2
歴代消防長	5
令和3年中の主な行事	6
消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌	7
消防予算	8
一般会計予算に占める消防費の割合（当初額）	
消防費に対する人口、世帯当り額	
消防力の整備指針と現有消防力の比較	9
職員階級別、所属別配置状況	10
職員階級別勤続年数状況	
職員階級別年齢状況	11
消防本部（署）庁舎の概要	12
現有消防車両	
通信施設状況	13
消防水利状況	14
各種研修実施状況	
外部研修等派遣状況	15
応急手当普及啓発活動実施状況	16
自主防災組織	17
緊急避難所	18
風水害時における緊急避難所を補完する施設	19
収容避難所	
収容避難所を補完する施設	20

消 防 団

菰野町消防団の沿革	21
歴代消防団長（合併以降）	
消防団の機構、団員数	22
年齢別、階級別消防団員数	23
在職年数別消防団員数	
消防団員報酬	
消防団員出動報酬	

消防団員職業別構成数	24
消防団消防車両配置状況	

予 防

防火対象物現況	25
用途別建築同意状況	26
工事別建築同意状況	27
過去5年間の建築同意状況	
危険物施設現況	28
危険物施設許可認可状況	
各種届出処理状況	29
消防用設備等設置検査実施状況	
広報、啓発活動状況	30

火 災

火災事案発生状況	31
過去5年間の火災事案発生状況	
地区別火災発生状況	32
月別火災発生状況	
曜日別火災発生状況	
時間別火災発生状況	33
火災出動状況	
火災出動区分詳細	
火災発生状況及び出火原因状況	34
絵で見る火災原因	38

救 急、救 助

救急事案発生状況	39
過去5年間の救急事案発生状況	
事故種別、救急出動件数・搬送人員	40
現場到着所要時間別救急出動件数（覚知～現場到着）	
収容所要時間別救急搬送人員（覚知～医療機関到着）	

年齢区分別救急搬送人員	41
傷病程度別救急搬送人員	
時間別救急出動件数	
地区別救急出動状況	42
月別救急出動状況	
曜日別救急出動状況	
年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員	43
事故種別、年齢区分別救急搬送人員	
事故種別、傷病程度別救急搬送人員	
事故種別、時間別救急出動件数	44
事故種別、応急処置件数	
事故種別、医療機関別救急搬送人員	45
救助事案発生状況	46
過去5年間の救助事案発生状況	
事故種別、救助出動件数・救助人員	47
事故種別、救助出動人員	
事故種別、救助出動車両	
救助出動状況	48
月別山岳救助出動状況	54
曜日別山岳救助出動状況	
時間別山岳救助出動状況	

気象、通信、その他

月別気象状況と火災件数	55
月別気温概況	56
月別降水量概況	
月別湿度概況	57
月別風速概況	
気象通報受信状況	58
三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況	59
菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況	
菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況	
災害件数の推移	60

消防情勢



令和 3 年にドローンが導入されました。カメラ機能やサーモグラフィー装置を有しているため災害事案、訓練等で上空からの様々な情報を得られることにより活動の幅が大きく広がりました。

秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練

令和 3 年 11 月 14 日

於：菰野富士付近

菰野町の概要、位置図

菰野町は三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県と北はいなべ市、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、近年では登山ブームにより老若男女を問わず人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々や緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい景観をもっている。

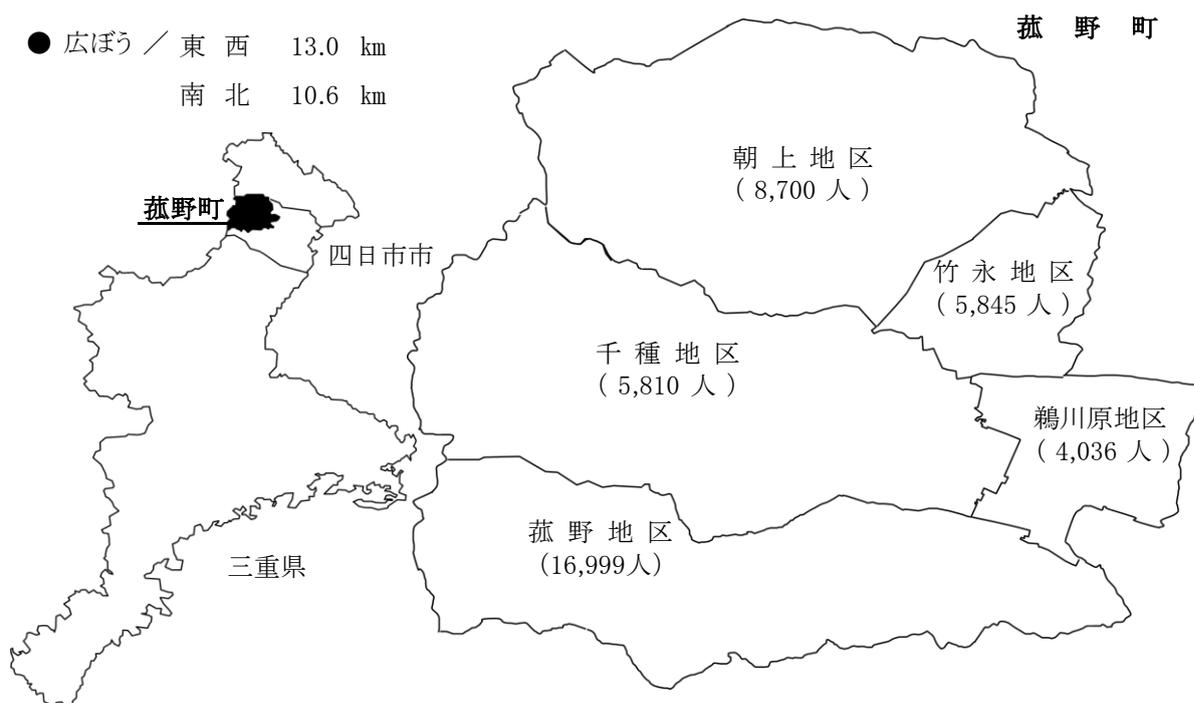
菰野町では、向かうべきまちの将来像に「支えあえる、安全で安心なまち」「豊かな自然を活かして人びとをひきつけるまち」「産業の発展と豊かな暮らしが循環するまち」「菰野らしい風景の中、子育てしやすいまち」の4つをあげ、「これらのことが、いつまでも、菰野町としてあり続けられること」を目指しています。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地) ● 人口 / 41,390 人
東経 136° 30' 25" (令和4.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km² ● 世帯数 / 16,964 世帯
(令和4.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう / 東西 13.0 km
南北 10.6 km



菰野町消防本部のあゆみ

昭和58年(1983)

- 9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置

昭和59年(1984)

- 3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定（内定）を受ける。
- 7. 19 消防庁舎建設工事着工
- 8. 24 日本消防協会より救急車（2 B型）の寄贈を受ける。
- 10. 21 役場庁舎において救急業務開始（総務課消防防災係16名）

昭和60年(1985)

- 1. 31 消防庁舎完成（コミュニティ防災センターを併設）
- 2. 14 消防庁舎において試行業務開始
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部 消防署発足**
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。
定数31名 車両5台
- 4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式

昭和61年(1986)

- 3. 25 ポンプ車（CD-I型）購入
- 11. 19 普通貨物自動車購入

昭和62年(1987)

- 2. 26 はしご車（30m級）購入
- 10. 14 （社）日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
- 10. 28 広報車購入

昭和63年(1988)

- 4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成元年(1989)

- 1. 24 救急車（2 B型）購入
- 4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年(1990)

- 8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成4年(1992)

- 4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成5年(1993)

- 12. 24 訓練塔敷地造成工事開始

平成6年(1994)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成7年(1995)

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水－I A型）購入
- 3. 18 訓練塔竣工式
- 12. 22 消毒室完成

平成8年(1996)

- 3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入
- 12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数40名）

平成9年(1997)

- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始
- 5. 15 救急救命士が誕生

平成10年(1998)

- 2. 4 ポンプ車（CD－I型）購入
- 4. 1 救急救命士業務運用開始
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始
- 11. 24 積載車購入

平成11年(1999)

- 1. 21 広報車購入
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場する。

平成12年(2000)

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成13年(2001)

- 3. 7 高規格救急車購入
- 3. 10 新通信指令室の運用を開始

平成14年(2002)

- 4. 1 消防吏員服制規則改正

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰受賞する。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰受賞する。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)
- 9. 3～4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施する。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了
- 8. 8 携帯119番直接受信開始
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入
- 4. 1 緊急消防援助隊登録
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車（水-I A型）購入
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成20年(2008)

- 3. 9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 3. 14 救助工作車（II型）購入
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 12 査察車購入

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 8. 1 Eメール119番通報運用開始
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号完成

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 12. 2 高規格救急車購入

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結する。

平成24年(2012)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 4. 13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入
- 12. 27 広報車購入

平成25年(2013)

- 8. 21 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 11. 18 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成26年(2014)

- 3. 24 はしご車（先端屈折式 30m級）購入
- 12. 5 ポンプ車（CD-I型CAFS付）購入

平成27年(2015)

- 1. 31 資機材搬送車購入
- 4. 1 救命サポート事業開始
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数58名）
- 8. 26 消防支援隊発足（35名）
- 11. 26 高規格救急車購入

平成28年(2016)

- 4. 1 三重北消防指令センター運用開始
- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)
- 7. 26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成29年(2017)

- 3. 8 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 11. 28 高規格救急車購入

平成30年(2018)

- 3. 7 消防庁長官表彰功労章を受章する。
- 6. 1 三重北消防指令センターにて多言語三者間同時通訳システム運用開始

令和元年(2019)

- 1. 31 三重県内高速道路等における消防相互応援協定を締結
- 8. 24 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 10. 1 三重北消防指令センターにてNet119緊急通報システム運用開始

令和2年(2020)

- 2. 28 小型動力ポンプ付水槽車（I型）購入
- 3. 4 消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。
- 3. 15 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。

令和3年(2021)

- 3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 5. 19 患者等搬送事業認定制度開始
- 7. 20 三重北消防指令センターにて119番映像通報システム運用開始

歴代消防長

初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	至	平成30年 3月31日
十二代	吉川 澄	自	平成30年 4月 1日	至	令和 3年 3月31日
十三代	山本 正春	自	令和 3年 4月 1日	現在に至る	

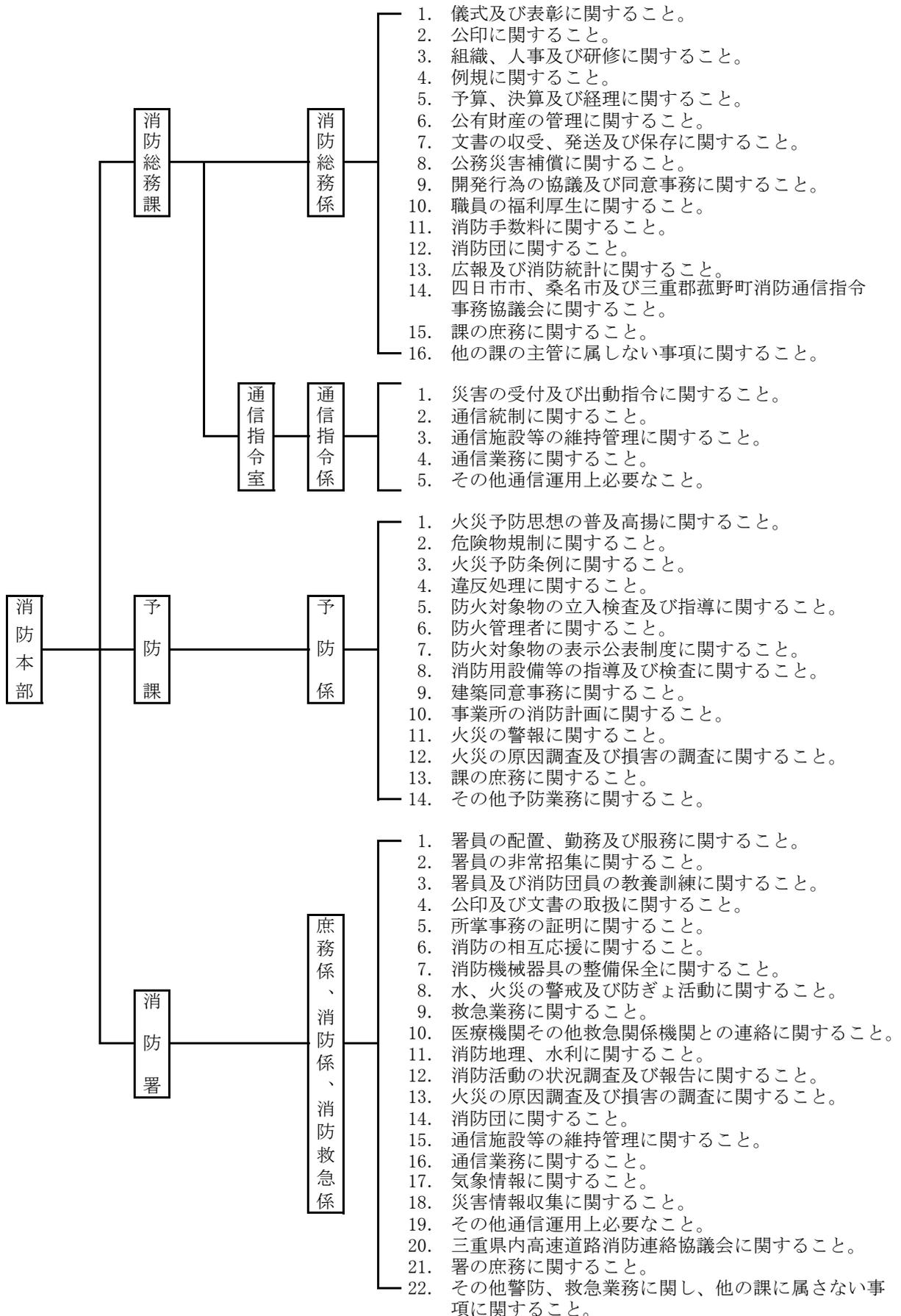
令和3年中の主な行事

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| 1. 10 | 消防出初式[中止] |
| 1. 20 | 文化財防火運動に伴う 特別消防訓練〔中止〕 |
| 2. 24 | 春の火災予防運動に伴う 特別消防訓練〔中止〕 |
| 2. 28 | 防火広報〔中止〕 |
| 3. 1～3. 7 | 春の火災予防運動 |
| 4. 4 | 消防辞令交付式 |
| 5. 28 | 危険物安全週間に伴う 特別消防訓練〔中止〕 |
| 5. 30 | 菰野町水防訓練〔中止〕 |
| 5. 31 | 菰野町防火協会理事会総会〔書面会議〕 |
| 6. 6～6. 12 | 危険物安全週間 |
| 6. 27 | 菰野町消防団操法大会〔中止〕 |
| 8. 29 | 菰野町民総ぐるみ総合防災訓練〔中止〕 |
| 8. 30～9. 5 | 防災週間 |
| 8. 31 | 防災週間に伴う 特別消防訓練〔中止〕 |
| 9. 5～9. 11 | 救急医療週間 |
| 10. 18 | 集団救急救護訓練[消防本部] |
| 11. 5 | 三重県消防職員警防技術交換会〔中止〕 |
| 11. 9～11. 15 | 秋の火災予防運動 |
| 11. 14 | 秋の火災予防運動に伴う 特別消防訓練〔菰野富士付近駐車場〕 |
| 12. 28～12. 31 | 年末特別警戒〔町内一円〕 |

※中止及び書面会議となった行事については、実施予定であった月日を記載してあります。

消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌

令和 4. 4. 1現在



消防予算(当初額)

(千円)

年度 \ 区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	合計
平成30年度	500,483	42,052	16,768	50	559,353
令和元年度	498,958	40,829	88,139	50	627,976
令和2年度	536,732	40,864	77,013	50	654,659
令和3年度	535,782	39,326	135,414	50	710,572
令和4年度	550,995	42,731	61,760	50	655,536

一般会計予算に占める消防費の割合(当初額)

年度 \ 区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比率(%)
平成30年度	12,810,000	559,353	4.4
令和元年度	12,870,000	627,976	4.9
令和2年度	13,460,000	654,659	4.9
令和3年度	13,310,000	710,572	5.3
令和4年度	13,300,000	655,536	4.9

消防費に対する人口、世帯当り額

年度 \ 区分	人口 (人)	世帯 (戸)	消防費 (千円)	人口 1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの消防 費(千円)
平成30年度	41,820	16,284	559,353	13	34
令和元年度	41,738	16,461	627,976	15	38
令和2年度	41,610	16,666	654,659	16	39
令和3年度	41,670	16,903	710,572	17	42
令和4年度	41,390	16,964	655,536	16	39

消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	0
	はしご付き消防自動車	1	はしご付き消防自動車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2) 高規格救急自動車(3)	3	0
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	計	9	計	8	△ 1

(人)

人 員	消防力の整備指針による区分別算定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消 防 ポ ン プ 自 動 車 (1)	5人×3部制=15人	69	40	△ 29
		消 防 ポ ン プ 自 動 車 (2)	4人×3部制=12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制=15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (2)	3人×3部制= 9人			
		指 揮 車	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (3)	(兼 務 運 用)			
		はしご付き消防自動車	(乗 換 運 用)			
		化学消防自動車【未配備】				
	通 信 員		3	3	0	
	予 防 要 員		5	5	0	
	そ の 他 の 人 員		4	9	5	
	合 計		81	57	△ 24	

令和 4. 4. 1現在

職員階級別、所属別配置状況

令和 4. 4. 1現在

所属	階級 消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防長・消防本部	1	2					3
消防本部消防総務課		4	1	1		3	9
消防本部予防課		1	1	2	1		5
消防署		3	14	6	5	11	39
町部局				1			1
合計	1	10	16	10	6	14	57

職員階級別勤続年数状況

令和 4. 4. 1現在

勤続年数	階級 消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
1年未満						3	3
1年						2	2
2年						3	3
3年							
4年					1	4	5
5年						1	1
6年		2				1	3
7年					2		2
8年					1		1
9年				2	1		3
10年							
11年				1			1
12年							
13年					1		1
14年				1			1
15年				1			1
16年				1			1
17年							
18年			1	1			2
19年				1			1
20年			1				1
21年		1	1	1			3
22年							
23年			2				2
24年			2				2
25年			3				3
26年							
27年							
28年			5				5
29年			1				1
30年		1					1
31年							
32年							
33年							
34年		2					2
35年							
36年							
37年	1	4		1			6
合計	1	10	16	10	6	14	57

職員階級別年齢状況

令和 4. 4. 1現在

年齢	階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
18歳							1	1
19歳							2	2
20歳							1	1
21歳							1	1
22歳							1	1
23歳							1	1
24歳							3	3
25歳							1	1
26歳							3	3
27歳						2		2
28歳								
29歳						1		1
30歳						2		2
31歳						1		1
32歳					1			1
33歳					2			2
34歳								
35歳					2			2
36歳					2			2
37歳					1			1
38歳								
39歳					1			1
40歳				2				2
41歳				1				1
42歳								
43歳				1				1
44歳				1				1
45歳				1				1
46歳				3				3
47歳				2				2
48歳				1				1
49歳				2				2
50歳				2				2
51歳								
52歳			2					2
53歳			1					1
54歳								
55歳								
56歳			1					1
57歳		1	5					6
58歳			1					1
59歳								
60歳								
61歳					1			1
合 計		1	10	16	10	6	14	57

平均年齢 38.8 歳

消防本部(署)庁舎の概要

令和 4. 4. 1現在

所在地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積:5,039.21㎡)					
区分	庁舎	仮設庁舎	訓練棟			車庫棟
	消防署	消防本部	主塔	副塔	倉庫棟	車庫棟
建設年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	令和2年竣工
構造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建	鉄骨平屋建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡	53.4㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡	53.4㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	
3 F	(P.H)21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡		
4 F			32.4㎡			

現有消防車両

令和 4. 4. 1現在

車種	区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免許区分
はしご車		日野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8, 860	19, 120	大型
救助工作車		日野	II型	三重800は1347	H20. 3. 13	7, 680	12, 000	大型
水槽付ポンプ車		日野	水-II型 (災害対応)	三重830は2201	R4. 1. 7	5, 120	11, 700	大型
小型動力ポンプ付水槽車		日野	I型	三重830と2002	R2. 2. 27	5, 120	12, 655	大型
ポンプ車		日野	CD-I型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26. 12. 4	4, 000	6, 755	準中型
救急1号車		日産	高規格 (災害対応)	三重830す1711	H29. 11. 17	3, 490	3, 385	普通
救急2号車		日産	高規格	三重830せ1511	H27. 11. 17	3, 490	3, 395	普通
救急3号車		日産	高規格	三重800す7167	H22. 12. 2	3, 490	3, 235	普通
査察車		トヨタ	ワゴン	三重800す5463	H20. 12. 11	1, 980	2, 100	普通
広報車		トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2, 690	2, 670	普通
資機材搬送車		いすゞ	2t積	三重800せ 127	H27. 1. 29	2, 990	4, 905	準中型
事務連絡車		トヨタ	ワゴン	三重500ゆ8563	H15. 5. 22	1, 990	1, 920	普通

通信施設状況

令和 4. 4. 1現在

	種類	数量	備考
菰野町消防本部、消防署	車載移動無線局 (デジタル)	12局	菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	携帯移動無線局 (デジタル)	16局	菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	消防団車載移動無線局 (デジタル)	11局	菰野波2、消防団波
	消防団携帯移動無線局 (デジタル)	11局	菰野波2、消防団波
	半固定無線局 (デジタル)	4局	こもの200【卓上型】 こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】 役場災害対策室設置 菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	消防救急デジタル無線基地局 (活動波)	1局	活動波：みえきたしれいこもの(菰野波1～2) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県消防救急デジタル無線基地局 共通波(菰野中継所)	1局	みえきょうつうこもの(主運用波、統制波1～3) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県防災行政無線局	3局	衛星局、地上局、可搬型衛星地球局
	携帯移動無線局 (署活動用携帯型)	36局	こもの310～339、341～343、こもの300～302 署活1～2、消防団波
	デジタル簡易無線局 (携帯型)	15台	
	車両運用端末装置Ⅲ型 (AVM)	11台	ドコモFOMA回線
	職員招集メール発信システム	1式	
	菰野町行政情報メール発信システム	1式	
	指令センター用内線電話機	1回線	三重北消防指令センター連絡用
	駆付け通報装置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用(玄関前に設置)
	一般加入電話	2回線 4ch	
	F A X	1回線 2ch	一般用、福祉用
	救急車積載携帯電話	5台	
	衛星携帯電話	2台	
	携帯電話	3台	本部1、署2
三重北消防指令センター	報知電話(119)	7回線 14ch	固定電話、携帯電話、IP電話
	F A X 1 1 9	1台	
	N e t 1 1 9	2台	
	119番映像通報システム	1式	
	順次指令装置	6回線 12ch	指令台連動
	消防テレフォンガイド	1回線 2ch	指令台連動 NTTテレトキーにより同時に5回線受信可能
	指令メール	1式	火災指令メール
	多言語三者間同時通訳システム	1回線	通訳センターを介した多言語三者間同時通訳
ケーブルテレビ消防情報	1ch		

※三重北消防指令センターは菰野町消防本部、四日市市消防本部、桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています。

消防水利状況

令和 4. 4. 1現在

水 利		地 区	菰 野	鵜川原	竹 永	朝 上	千 種	合 計
消 火 栓	管 径 50 mm 以下		5		1		2	8
	管 径 75 mm		172	81	101	123	112	589
	管 径 100 mm		151	44	38	113	75	421
	管 径 150 mm 以上		160	63	37	85	82	427
	合 計		488	188	177	321	271	1,445
防 火 水 槽	容 量 20 m ³ 未 満		3		2	7	2	14
	容 量 20 m ³ 以上 40 m ³ 未 満		21	3	7	12	4	47
	容 量 40 m ³ 以 上		4	1	1	3	8	17
	耐 震 性 貯 水 槽 40 m ³		7	1	1	2	2	13
	耐 震 性 貯 水 槽 100 m ³		1	1	1	1	1	5
	プ ー ル		4	1	1	2	1	9
	合 計		40	7	13	27	18	105
自 然 水 利	河 川		52	17	13	74	63	219
	池		8	2	3	16	11	40
	合 計		60	19	16	90	74	259

各種研修実施状況

内 容	区 分	延 時 間	延 人 数	回 数
訓 育		2	4	4
法 学 一 般		14	27	5
実 務 法 規		7	29	3
地 理 及 び 水 利		396	366	140
火 災 予 防		141	273	79
気 象		4	37	4
勤 務 要 綱		65	153	49
消 防 行 動		14	127	17
消 防 戦 術		62	140	25
消 防 機 械		331	1,330	279
消 防 操 法		5	1	1
実 施 訓 練		1,053	3,459	587
訓 練 礼 式		25	184	16
救 急 学		1,596	1,215	409
体 育		93	3,224	359

外部研修等派遣状況

令和3年度

派遣	区分	科 目	期 間	人員
救急救命士 研修所		救急救命士新規養成研修（東京研修所第60期）	R3. 4. 6～R3. 10. 4	1
		救急救命士新規養成研修（九州研修所第40期）	R3. 9. 2～R4. 3. 14	1
消 防 学 校		初任科（第58期）救急課救急課程（第24期）	R3. 4. 6～R3. 12. 3	2
		指導救命士課程（第4期）	R3. 5. 10～R3. 5. 21	1
		気管挿管フォローアップ研修	R3. 6. 25	1
		救助科 救助課程（第31期）	R3. 8. 23～R3. 9. 22	1
		特別科 指揮課程（第9期）	R3. 12. 13～R3. 12. 17	1
		火災調査科 火災調査課程（第19期）	R4. 1. 24～R4. 2. 4	1
		警防科 警防課程（第33期）	R4. 1. 31～R4. 2. 10	1
		特殊災害科 特殊災害課程（第9期）	R4. 2. 14～R4. 2. 22	1
		中級幹部科（第30期）	R4. 2. 24～R4. 3. 4	1
警 防		F F S（ファイヤーファイターサバイバル レベルⅠ）	R3. 11. 25～R3. 11. 26	1
救 急		M C L S コース（多数傷病者対応研修）	R3. 7. 3	1
		J P T E C プロバイダーコース（外傷病院前救護研修）	R3. 7. 24	2
		J P T E C プロバイダー更新コース（外傷病院前救護研修）	R3. 7. 24	3
		J P T E C インストラクターコース（外傷病院前救護研修）	R3. 8. 8	1
		I C L S コース（心肺蘇生二次救命処置研修）	R3. 10. 23	1
		救急コ・メディカルセミナー（web）	R3. 11. 2	5
		I S L S プロバイダーコース（神経救急蘇生研修）	R3. 11. 3	1
		P E M E C コース（救急隊員による疾病の観察・処置の標準化）	R3. 11. 13	1
		気管挿管病院実習（30症例）	R3. 11. 15～R4. 2. 22	1
		P C E C コース（意識障害病院前救護研修）	R3. 11. 29	2
		全国救急隊員シンポジウム（web）	R4. 1. 27～R4. 1. 28	4
救 助		テクニカルロープレスキュー	R3. 7. 8～R3. 7. 10	1
		アリゾナボーテックスフレーム講習	R3. 7. 18～R3. 7. 19	1
		山岳遭難救助研修会	R3. 10. 11～R3. 10. 15	1
		アドバンスドロープレスキューテクニシャンⅠ	R4. 2. 16	1
予 防		プレゼンテーションスキル研修（web）	R3. 10. 4	1
		火災調査研究発表会（web）	R3. 10. 19～R3. 10. 26	1
		消防法令違反是正事例発表会（web）	R3. 10. 29	1
		消防用設備等セミナー	R3. 11. 17	1
		火災科学セミナー（DVD）	R3. 12. 1	1
		消防警察事故原因究明技術研究会（web）	R3. 12. 9	1
		企業防災対策指導研究会	R3. 12. 21	1
		消防法令違反是正研修会（web）	R4. 1. 19	2
		危険物事故事例セミナー（web）	R4. 2. 1～R4. 3. 31	1
通 信 指 令		第4回通信指令シンポジウム（web）	R4. 2. 12	1
その他		伐木等の業務にかかる特別教育講習	R3. 5. 17～R3. 5. 19	1
		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	R3. 6. 16～R3. 6. 18	1

応急手当普及啓発活動実施状況

菟野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が減少となっています。

年度	区分	救急講習		普通救命講習		応急手当普及員講習	
		回数	受講者数	回数	修了者数	回数	修了者数
平成7年度		10	351	5	93		
平成8年度		16	330	7	78		
平成9年度		18	384	10	130		
平成10年度		12	310	8	90		
平成11年度		14	942	8	142		
平成12年度		14	382	11	206		
平成13年度		9	257	13	151		
平成14年度		9	396	24	408		
平成15年度		14	592	13	197		
平成16年度		17	828	16	263		
平成17年度		9	1,094	33	480	1	12
平成18年度		15	734	59	840	5	60
平成19年度		16	461	60	989	3	57
平成20年度		4	226	71	1,013	4	72
平成21年度		11	262	44	592	3	45
平成22年度		7	302	35	512	2	38
平成23年度		9	319	45	699		
平成24年度		11	468	39	628	2	26
平成25年度		6	276	37	571	1	29
平成26年度		17	459	45	564	3	28
平成27年度		21	526	47	636	3	42
平成28年度		12	427	42	555	3	19
平成29年度		17	671	45	577	3	17
平成30年度		8	172	40	541	3	22
令和元年度		16	249	37	480	2	11
令和2年度		3	37	12	66	6	26
令和3年度		1	20	21	74	2	3
合計		316	11,475	827	11,575	46	507

自主防災組織

令和 4. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	}	菰野地区婦人消防隊 (昭和43年4月21日結成 371 人)
		鵜川原地区婦人消防隊 (昭和40年3月20日結成 75 人)
		竹永地区婦人消防隊 (昭和58年6月 1日結成 70 人)
		朝上地区婦人消防隊 (昭和42年4月 1日結成 122 人)
		千種地区婦人消防隊 (昭和57年4月21日結成 117 人)
<hr style="width: 100%;"/>		合計 5 隊 総員 755 人

(2) 自 警 団
合計 32 団 総員 681 人

菰 野 地 区	}	神 明 区 (16 人)
		菰 野 第 一 区 (36 人)
		菰 野 第 三 区 (144 人)
		宿 野 区 (18 人)
		福 村 区 (10 人)
		神 森 区 (14 人)
<hr style="width: 100%;"/>		計 6 団 総員 238 人

鵜 川 原 地 区	}	大 強 原 区 (14 人)
		下 村 区 (15 人)
		川 北 区 (15 人)
		池 底 区 (12 人)
		吉 沢 区 (10 人)
		諏 訪 区 (10 人)
<hr style="width: 100%;"/>		計 6 団 総員 76 人

竹 永 地 区	}	竹 成 区 (11 人)
		永 井 区 (37 人)
<hr style="width: 100%;"/>		計 2 団 総員 48 人

朝 上 地 区	}	榊 区 (13 人)
		松 涛 園 区 (13 人)
		小 島 区 (17 人)
		田 口 新 田 区 (20 人)
		美 山 区 (16 人)
		田 口 区 (4 人)
		日 丘 区 (26 人)
		切 畑 区 (5 人)
		一 本 木 団 地 (10 人)
		青 葉 台 区 (8 人)
<hr style="width: 100%;"/>		計 10 団 総員 132 人

千 種 地 区	}	千 草 区 (22 人)
		音 羽 区 (14 人)
		潤 田 区 (34 人)
		三 滝 園 区 (42 人)
		岡 区 (12 人)
		福 松 区 (17 人)
		奥 郷 区 (10 人)
		江 野 区 (36 人)
<hr style="width: 100%;"/>		計 8 団 総員 187 人

緊急避難所

令和 4. 4. 1現在

区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
神 明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公会所	大字菰野8475-22		32
大 羽 根 園	大羽根園自治会公会所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰 野 第 一 区	菰野第一区第一公会所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰 野 第 二 区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰 野 第 三 区	南部公民館	大字福村148	059-393-1991	128
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	50
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿 野	宿野公会所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福 村	福村公会所	大字福村272	059-394-2744	56
神 森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大 強 原	大強原公会所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下 村	下村公会所	大字下村2166-3		48
川 北	川北公会所	大字川北563	059-393-2074	81
池 底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉 沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2		44
諏 訪	諏訪公会所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹 成	竹成区公会堂	大字竹成2116	059-396-1880	78
永 井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田 光	田光公会堂	大字田光2066	059-396-0127	90
杉 谷	杉谷公会所	大字杉谷2580	059-396-2319	66
榺	榺公会所	大字榺303		16
松 涛 園	松涛園公会所	大字小島417-185		36
小 島	小島集落センター	大字小島1687-1		33
田 口 新 田	田口新田公会所	大字田口新田2256		42
美 山	美山区公会所	大字田口新田232-32		13
田 口	田口公会所	大字田口2493		56
日 丘	日丘区公会所	大字田口新田117-66		16
切 畑	切畑公会所	大字切畑578-8		12
根 の 平	根の平公会所	大字根の平114-1		10
一 本 木 団 地	一本木公会所	大字榺895-44		24

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
青葉台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		39
	(株)マキテック三重工場	大字千草4633-9		87
千草	千草公会所	大字千草2763		50
	千草区区民センター	大字千草2510		26
音羽	音羽公会所	大字音羽585-1		31
潤田	潤田集落研修センター	大字潤田499	059-394-1430	79
三滝園	三滝園公会所	大字潤田650-177		26
岡	岡公民館	大字千草4127-10	059-393-4193	56
福松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	42
奥郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	43
江野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	37

収容人数＝有効スペース3㎡×1人

風水害時における緊急避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野地区 コミュニティセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝上地区	朝上地区 コミュニティセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千種地区	千種地区 コミュニティセンター	大字千草3851	059-393-2052	18

収容人数＝有効スペース(和室) 3㎡×1人

※緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難者及びキャンプ場宿泊者を受け入れる場合に利用する。

収容避難所

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野町B&G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2122	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜川原地区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹永地区	竹永小学校	大字竹成2593-5	059-396-0009	198
朝上地区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千種地区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容人数＝体育館等3㎡×1人

収容避難所を補完する施設

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野こども園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西こども園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野幼稚園 菰野東保育園	大字菰野1485	059-393-1179	69
鶉 川 原 地 区	鶉川原幼稚園 鶉川原保育園	大字大強原829-1	059-393-2405	36
竹 永 地 区	竹永幼稚園 竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	51
朝 上 地 区	朝上幼稚園 朝上保育園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
	北部子ども子育て支援拠点施設	大字田光4293	059-396-0707	41
千 種 地 区	千種幼稚園 千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	51

※収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する隣接の保育園、幼稚園等である。

消防団



消防団の新規入団員を対象に基本的技能を習得するため、訓練礼式、水防工法（土のう作成）、ホース延長などの研修を実施しました。

消防団新規入団員研修
令和3年6月27日
於：菰野町消防本部

消防団

消防団は郷土愛の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震、風水害、火災等の災害時には町民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平時には火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

令和3年中における主な活動は、火災件数14件の内、消防団の出動は12回、延べ出動人員280人。その他、各種訓練、警戒、警備等に出動し活躍しています。

菰野町消防団の沿革

明治27年	消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。
昭和 3年	町制施行により菰野村が菰野町となる。
昭和14年	警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。
昭和23年	消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。
昭和30年 4月	町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。
昭和31年 9月	菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。
昭和32年 1月	菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数 159名）に統一、菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。
昭和41年 7月	湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。
昭和43年 1月	菰野町役場に本部班が設置される。
昭和58年 4月	本部班が本部分団となり、全7分団となる。
昭和58年 7月	三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
昭和59年 7月	三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
平成 2年10月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。
平成 6年10月	全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 9年 2月	第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
平成 9年 8月	三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成18年 7月	三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。
平成26年11月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
令和 2年 3月	消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。

歴代消防団長(合併以降)

初代	服部 幸太郎	自	昭和32年 1月 15日	至	昭和52年 4月 1日
二代	伊藤 正一	自	昭和52年 6月 15日	至	昭和55年12月31日
三代	谷 善一	自	昭和56年 1月 1日	至	昭和58年12月31日
四代	辻 収	自	昭和59年 1月 1日	至	平成 7年 2月28日
五代	白木 一	自	平成 7年 3月 1日	至	平成17年 3月31日
六代	小林 幸治	自	平成17年 4月 1日	至	平成29年 3月31日
七代	増田 富雄	自	平成29年 4月 1日	至	平成29年11月21日
八代	服部 卓美	自	平成30年 1月 1日	現在に至る	

消防団の機構、団員数

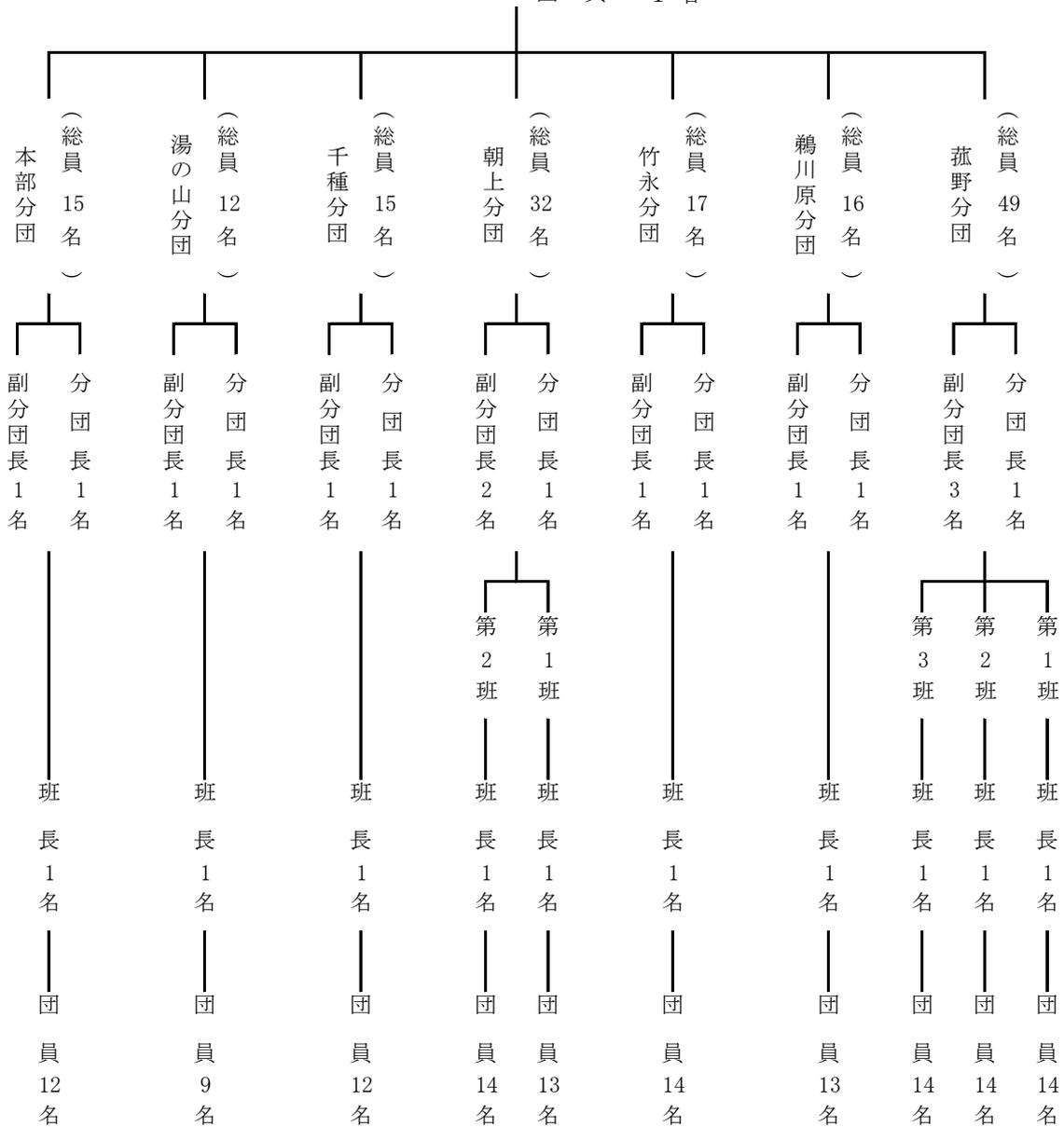
令和 4. 4. 1現在

菰野町消防団 分団数 7分団 (10班)
 団員定数 168名
 現有団員数 160名

菰野町消防団

(総員 160名)

消防団本部
 団長 1名
 副団長 2名
 団員 1名



年齢別、階級別消防団員数

令和4.4.1現在

年齢 \ 階級	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
18歳～20歳							
21歳～25歳						13	13
26歳～30歳						38	38
31歳～35歳				2	4	43	49
36歳～40歳			2	2	3	26	33
41歳～45歳			1	5	3	6	15
46歳～50歳			4	1		3	8
51歳～55歳		1					1
56歳～60歳						1	1
61歳～65歳	1	1					2
合計	1	2	7	10	10	130	160

平均年齢 34.5 歳

在職年数別消防団員数

令和4.4.1現在

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合計
団員数	46	48	40	13	7	1	5	160

消防団員報酬

令和4.4.1現在

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員
年間報酬額(円)	186,000	128,000	105,000	87,000	76,000	70,000

消防団員出動報酬

令和4.4.1現在

項目	災害出動	訓練	警戒	ポンプ点検等	車両検査	立入検査
1日当りの報酬(円)	8,000	2,000	1,000	700	700	5,000

※災害出動については活動時間が4時間未満の場合は2分の1の額とする。

消防団員職業別構成数

令和 4. 4. 1現在

職 業	自営業	会社員	公務員	その他 (役員等)	合計
人 数	14	94	37	15	160

消防団消防車両配置状況

令和 4. 4. 1現在

分団名	区分	車 名	規格等	登 録 番 号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免 許 区 分
	菰野分団第1班		いすゞ	CD-I	三重800す 715	H17. 2. 9	4, 770	4, 460
菰野分団第2班		いすゞ	CD-I	三重800す7276	H23. 2. 14	2, 990	4, 730	準中型
菰野分団第3班		いすゞ	CD-I	三重800さ9007	H15. 12. 15	4, 770	4, 320	準中型
鵜川原分団		いすゞ	CD-I	三重800す5567	H21. 2. 3	2, 990	4, 620	準中型
竹 永 分 団		日野	CD-I	三重830さ4047	R 4. 2. 10	4, 000	4, 750	準中型
朝上分団第1班		いすゞ	CD-I	三重800す4668	H20. 2. 6	2, 990	4, 440	準中型
朝上分団第2班		いすゞ	CD-I	三重800さ7399	H14. 12. 16	4, 770	4, 690	準中型
千 種 分 団		いすゞ	CD-I	三重800さ5820	H13. 12. 18	4, 570	4, 410	準中型
湯 の 山 分 団		いすゞ	CD-I	三重800さ4046	H13. 2. 7	4, 570	4, 470	準中型
本 部 分 団		いすゞ	CD-I	三重830せ1702	H29. 2. 22	2, 990	4, 900	準中型
団 本 部		日産	付積	三重800せ 280	H27. 3. 26	2, 480	3, 220	普通
		トヨタ	付積	三重830な2002	R 2. 2. 21	2, 980	3, 160	普通
		日産	ワゴン	三重502ふ2380	H26. 11. 27	1, 590	1, 735	普通

※付積＝小型動力ポンプ付積載車

予 防



子供たちが日々安全な生活を送るために、火災予防はとても大切なことです。それは日常生活における、ほんの少しの気遣いから大きな事故を未然に防ぐことができます。自分自身や大切な人を守っていくはじめての一步です。

車両見学

令和3年7月8日

於：菰野町消防本部

予 防

消防のなかで火災等の災害を未然に防止することも重要な仕事のひとつです。一般家庭に対しては、行事、講習会等を通じ防火意識の普及高揚を図るとともに、事業所に対しては危険物の取扱い、消防用設備等の設置、維持、管理等について指導を行っています。

防火対象物現況

用 途		令和4.4.1現在			令和3.4.1現在			
		4階未満	4階以上	合 計	4階未満	4階以上	合 計	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ	公会堂又は集会場	37		37	37	37	
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ						
	ロ	遊技場 ダンスホール	4		4	4	4	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	1		1	1	1	
3	イ	待 合 、 料 理 店						
	ロ	飲 食 店	39		39	37	37	
4		百貨店、マーケット又は店舗	62		62	64	64	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	25	10	35	28	10	38
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	256	15	271	256	14	270
6	イ	病院、診療所又は助産所	17	2	19	16	2	18
	ロ	老人短期入所施設等	18	4	22	17	4	21
	ハ	老人デイサービスセンター等	28		28	26		26
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1		1	1		1
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校	38	2	40	38	2	40
8		図書館、博物館、美術館	5		5	4		4
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場				1		1
	ロ	イ以外の公衆浴場	4		4	3		3
10		車 両 の 停 車 場	2		2	2		2
11		神 社 、 寺 院 、 教 会	38		38	37		37
12	イ	工 場 又 は 作 業 場	176	6	182	175	4	179
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫又は駐車場	21		21	21		21
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14		倉 庫	101	3	104	99	3	102
15		前各項に該当しない事業場	130	4	134	129	4	133
16	イ	特定複合用途防火対象物	44	1	45	41	1	42
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	24	3	27	23	3	26
合 計			1,071	50	1,121	1,060	47	1,107

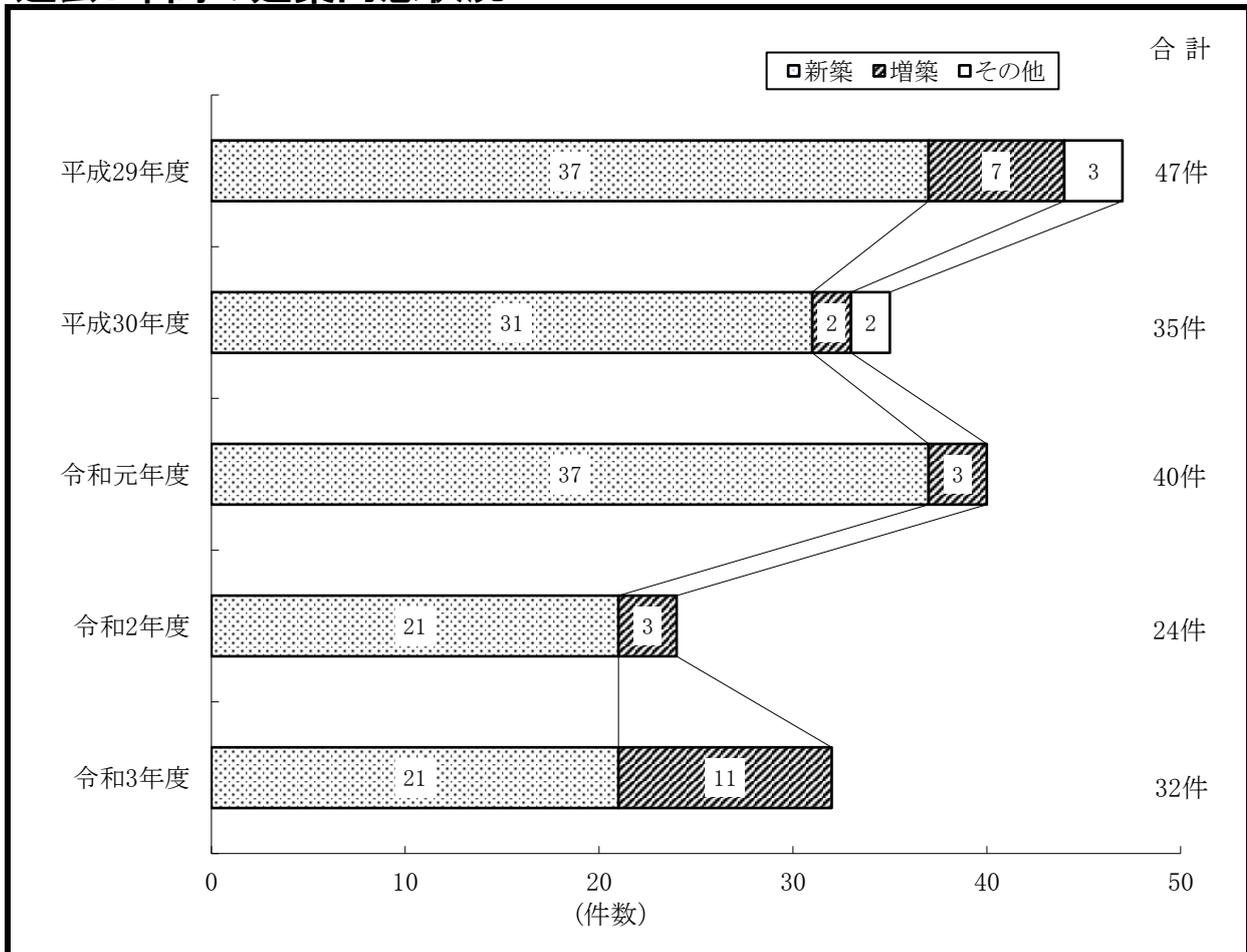
用途別建築同意状況

用 途		月 別												3年度 合 計	2年度 合 計		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場															
	ロ	公会堂又は集会場															
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ															
	ロ	遊技場 ダンスホール															
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等															
	ニ	カラオケボックス等															
3	イ	待合、料理店															
	ロ	飲食店							1						1		2
4		百貨店、マーケット又は店舗		1							1	1		1		4	3
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所															1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅										1				1	1
6	イ	病院、診療所又は助産所										1				1	1
	ロ	老人短期入所施設等											1			1	1
	ハ	老人デイサービスセンター等					2									2	3
	ニ	幼稚園又は特別支援学校															
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校															
8		図書館、博物館、美術館															
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場															
	ロ	イ以外の公衆浴場															
10		車両の停車場															
11		神社、寺院、教会									1					1	
12	イ	工場又は作業場	1		2	1				1					2	7	2
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ															
13	イ	自動車車庫又は駐車場															1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫															
14		倉庫	1										1		2	2	
15		前各項に該当しない事業場	1		1									1	2	5	5
16	イ	特定複合用途防火対象物						1								1	
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物							1							1	
その他		住 宅					1									1	3
		そ の 他	1							1				1		3	1
合 計			4	1	3	4	1	2	2	2	2	3	1	4	5	32	24

工事別建築同意状況

区分	工事種別					令和3年度 合計	令和2年度 合計
	新築	増築	改築	用途変更	その他		
同意	21	11				32	24
不同意							
合計	21	11				32	24

過去5年間の建築同意状況



危険物施設現況

区分	製造所等の別	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所					令和3年度合計	令和2年度合計	
			小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油		第一種販売	第二種販売			一般
												営業用	自家用					
倍数別	検査済施設数	1	117	31	16	7	34	1	24	4	58	15	19		1	23	176	175
	5倍以下		56	12	4	7	22	1	9	1	13		3			10	69	69
	5倍超10倍以下		18		7		9			2	5					5	23	24
	10倍超50倍以下	1	22	6	4		3		8	1	24	2	15		1	6	47	46
	50倍超100倍以下		5		1				4		5	2	1			2	10	10
	100倍超150倍以下		7	4					3		2	2					9	8
	150倍超200倍以下		2	2							2	2					4	4
	200倍超1,000倍以下		5	5							7	7					12	12
	1,000倍超		2	2													2	2
類別	第1類		1	1													1	1
	第2類																	
	第3類																	
	第4類	1	115	29	16	7	34	1	24	4	59	15	19		1	24	175	173
	第5類		1	1													1	1
	第6類																	
	混在																	

危険物施設許可認可状況

区分	製造所等の別	許 可				完 成 検 査				仮使用承認		廃 止 届	
		設 置		変 更		設 置		変 更		3年度	2年度	3年度	2年度
		3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度				
	製 造 所												
貯蔵所	屋 内	1			1	1			1		1	1	
	屋外タンク			1	2				2	1	1		1
	屋内タンク												
	地下タンク												
	簡易タンク												
	移動タンク												1
	屋 外												1
取扱所	給 油	1		2	4	1		2	4	1	4		
	第一種販売												
	第二種販売												
	一 般	1		12	4			11	5	11	4		
	合 計	3		15	11	2		13	12	13	10	3	1

各種届出処理状況

区 分	件 数		区 分	件 数	
	令和 3年度	令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度
防 火 管 理 者 選 解 任 届	53	68	蓄 電 池 設 備 設 置 届	17	1
消 防 計 画 書	66	66	ネオン管灯設備設置届		
消防用設備等点検結果報告書	300	379	水素ガスを充てんする気球設置届		
液化石油ガス等貯蔵取扱届	19	36	少量危険物貯蔵取扱届	18	4
防火対象物使用開始届	34	35	指定可燃物貯蔵取扱届	4	2
消 防 訓 練 実 施 届	165	153	毒物、劇物貯蔵取扱届		
炉 設 置 届			火災とまぎらわしい煙等届	90	109
ボイラー設備等設置届	10	3	煙火（打上げ、仕掛け）届		
発 電 設 備 設 置 届	4		消防用設備等着工届	44	71
変 電 設 備 設 置 届	28	6	消防用設備等設置届	54	73
防火対象物点検結果報告書	29	25	露店等の開設届	3	1

消防用設備等設置検査実施状況

区 分	件 数	
	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度
検 査 済 証	25	42

広報、啓発活動状況

令和3年度

区 分	回 数 等	延べ対象者数等
消 防 広 場（菰野町文化祭）	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	
庁 舎 見 学	5回	239人
訓 練 指 導	22回	1,529人
一 人 暮 ら し 高 齢 者 防 火 訪 問	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため防火訪問は中止し、対象者に防火パンフレットを配付	
巡 回 広 報	11回	町内全域
防 火 だ よ り の 発 刊	2回	27,700部
写 生 大 会	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	
防 火 書 道 コ ン ク ー ル	1回	518人
広報印刷物等	ポ ス タ ー	936枚
	チ ラ シ	400枚
	広 報 こ も の	5回 70,500部
	お 知 ら せ 版	11回 154,000部
そ の 他	の ぼ り	28日間 110本
	懸 垂 幕	21日間 3枚
	横 断 幕	28日間 20枚
	防 災 ラ ジ オ 放 送	19回 12,320台

【令和4年度全国統一防火標語】

「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

【令和4年度危険物安全週間推進標語】

「一連の確かな所作で無災害」

火災



総務省消防庁によると令和2年の総出火件数は34,691件でした。これは、おおよそ1日あたり95件の火災が発生したことになります。

消防本部では、消防職団員の火災防ぎょ技術及び連携活動の向上を図る目的で、毎年11月に秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練を行っています。その中で火災防ぎょ訓練に加え、チェーンソー取扱い訓練も実施しました。

秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練

令和3年11月14日

於：菰野富士付近

火 災

令和3年中は14件の火災が発生し、これら全火災での損害額は7,921千円でした。

火災件数は前年に比べて4件増加し、建物火災については昨年の4件から5件、枯草火災を含むその他火災では、1件から6件に増えています。

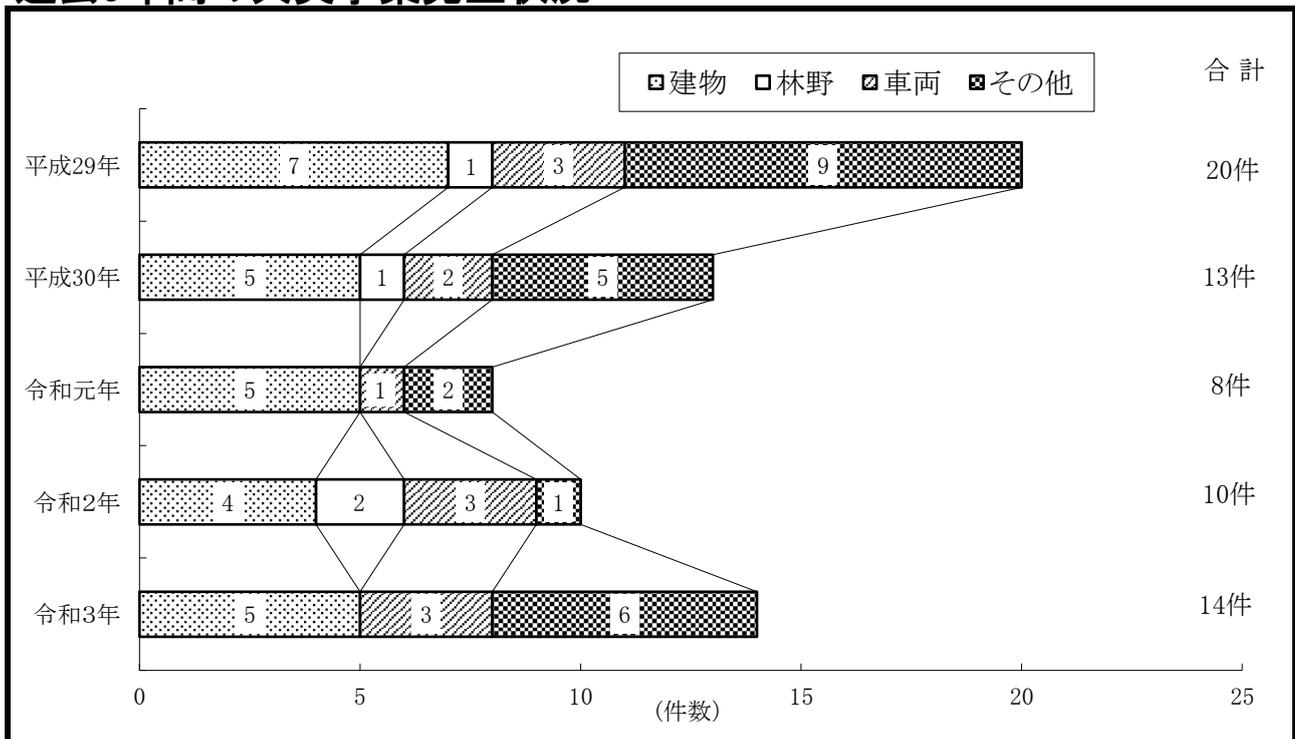
火災事案発生状況

区 分		年 別				
		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 国	火 災 件 数	39,373	37,981	37,683	34,691	
	出 火 率	3.1	3	3	2.7	
	1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	2,269	2,228	2,410	2,990	
三 重 県	火 災 件 数	634	738	660	615	
	出 火 率	3.4	4	3.6	3.5	
	1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	1,384	1,954	1,793	2,387	
菰野町	火 災 件 数	20	13	8	10	14
	出 火 率	4.8	3.1	1.9	2.4	3.4
	1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	1,300	156	1,889	3,531	566

※出火率＝人口1万人あたりの出火件数

菰野町人口 41,476人(令和3年12月31日現在)

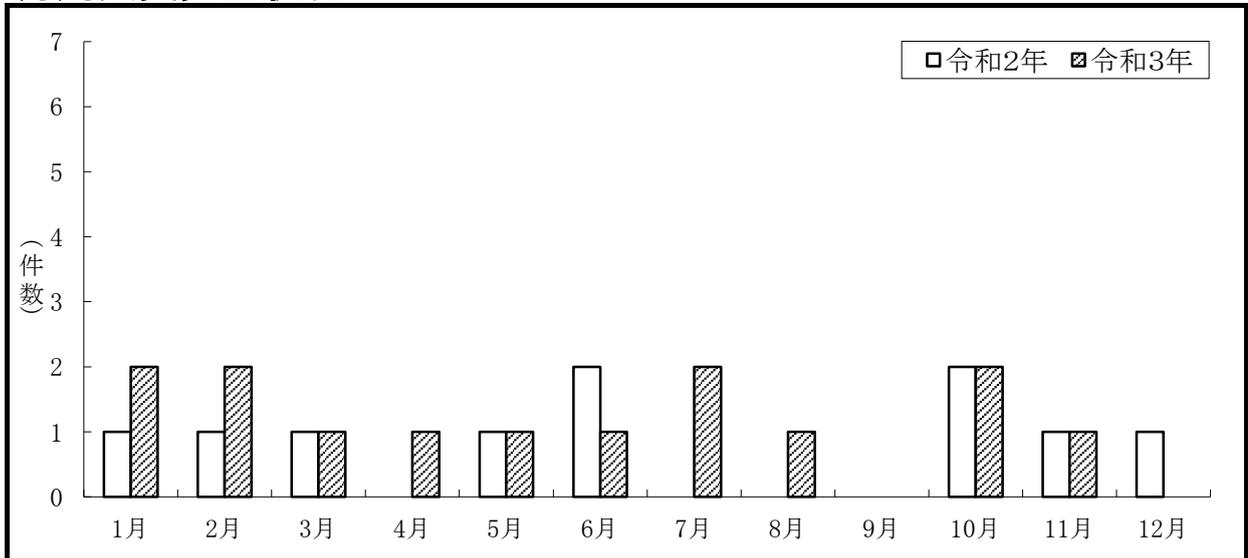
過去5年間の火災事案発生状況



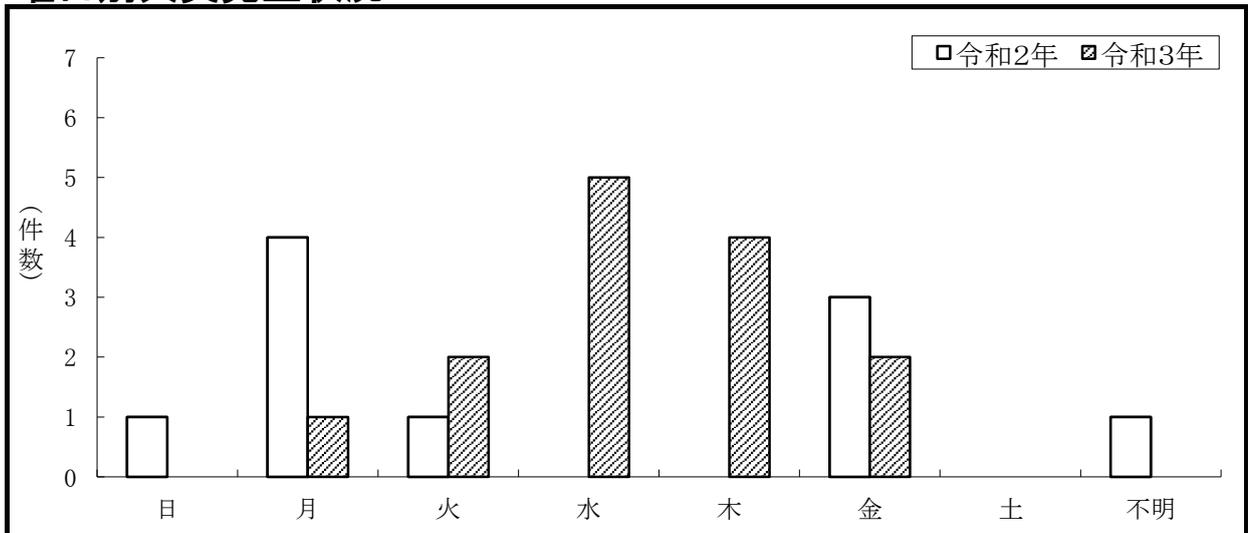
地区別火災発生状況

区分 地区	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り 災世 帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	林野 火災	車 両火 災	そ の 他 火 災			全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計			死 者	負 傷 者
菰野	4	2			2	1					2	2	2	439		1
鶉川原	3	2			1	121		4	1	1		6	1	382		2
竹永																
朝上	4	1		1	2	57			1			1	1	5,457		
千種	3			2	1									1,643		
合計	14	5		3	6	179		4	2	1	2	9	4	7,921		3

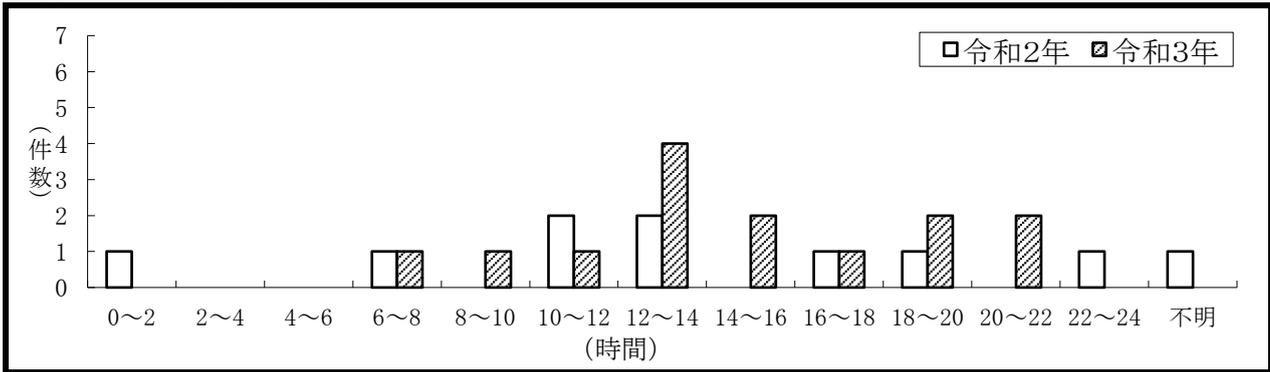
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



火災出動状況

種別 区分	火 災					非 火 災				管外	
	建 物	林 野	車 両	その他	計	警 戒	誤 認 虚 報	報 認 虚 報	その他		計
署単独出動						26		1	3	30	
第1出動	4		3	6	13						
第2出動											
第3出動											
事後聞知	1				1						
合 計	5		3	6	14	26		1	3	30	

火災出動区分詳細

火災種別	出動区分	消防本部・消防署出動車両	消防団出動車両
建物 航空機 危険物施設	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団 11車両
林野	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団 11車両
車両 特殊車両 危険物車両	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団 11車両
枯草 その他	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団 11車両
中高層	第1出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	全分団 11車両
トンネル (高速道路)	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
事後聞知		タンク車 指揮車 1~2車両	

※高速道路内の火災は原則として消防団は出動しない。

火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火地区 (区)	※覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)	
1	建物	1月8日(金) 20時00分	鵜川原 (下村)	報知電話	晴	西北西	4	-1	
2	建物	1月13日(水) 6時10分	菰野 (大羽根園)	報知電話	晴	北北東	4	2	
3	車両	2月9日(火) 16時50分	千種 (潤田)	報知電話	曇	北東	5	4	
4	その他	2月25日(木) 10時10分	朝上 (小島)	報知電話	晴	東	1	6	
5	建物	3月11日(木) 12時45分	鵜川原 (下村)	報知電話	晴	南南東	3	15	
6	その他	4月1日(木) 15時50分	千種 (潤田)	報知電話	晴	南南西	2	21	
7	その他	5月4日(火) 12時20分	朝上 (根の平)	報知電話	晴	東南東	2	19	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

事後聞知 = 鎮火後に覚知したもの

	湿度	出 火 原 因 等			火 災 概 要
	(%)	発 火 源	経 過	着 火 物	
	38	テーブルタップ	不明	その他	住宅の洗面所において、電気ストーブが繋がった洗面台コンセントから出火し、洗面室の壁の一部と洗面台が焼損したものの。
	65	たばこ	消したはずのものが再熱する	その他	共同住宅2階ベランダにおいて、タバコの吸殻の不始末により、エアコン室外機、ベランダの床、網戸等が焼損したものの。
	67	ブレーキライニング	摩擦により発熱する	第三石油類	クレーン付10tトラックが走行中に右後輪のブレーキの引きづり現象を起こし、ドラムブレーキが焼損したものの。
	46	枯草焼き	火源が動いて接触する	合成樹皮と成形品	刈り取った草を焼却中に電柱の支線カバーに延焼したものの。
	48	蓄電池	スパークによる引火	その他	車庫に収容されていたトラクターのバッテリーのスパークにより出火、車庫と隣接する倉庫等、4棟が全焼、他1棟が半焼及び工作物が焼損したものの。
	47	ライター	火遊び	枯草（生えたまま枯れたもの）	三滝川沿いの山林の法面において、火遊びにより繁茂した枯れ草を焼損したものの。
	49	枯草焼き	火源が転倒落下する	枯草	別荘の空き地において、バーベキューコンロの中で刈り取った枯れ草を焼却中、火源が地面に落下して延焼したものの。

火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火地区 (区)	※覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)	
8	その他	6月2日(水) 20時30分	鶉川原 (川北)	報知電話	晴	南南西	2	21	
9	建物	7月21日(水) 13時20分	菰野 (菰野)	事後聞知	快晴	南	3	31	
10	その他	7月23日(金) 18時30分	菰野 (菰野)	報知電話	晴	南南東	3	29	
11	その他	8月30日(月) 9時30分	菰野 (菰野)	報知電話	快晴	南東	1	30	
12	車両	10月20日(水) 15時55分	千種 (千草)	加入電話	曇	北	7	15	
13	車両	10月21日(木) 13時37分	朝上 (杉谷)	報知電話	曇	北西	6	15	
14	建物	11月3日(水) 19時30分	朝上 (杉谷)	報知電話	晴	北西	7	16	

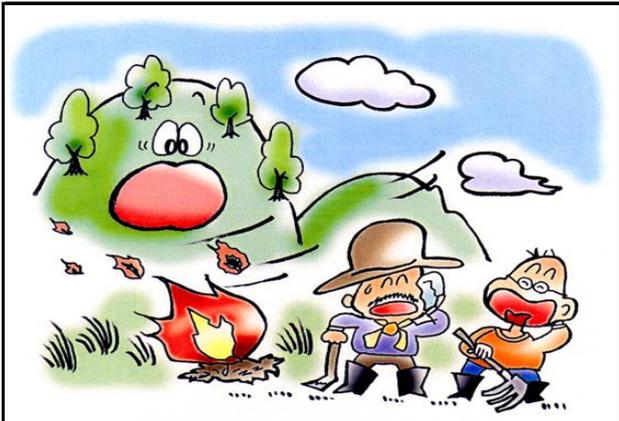
※ 報知電話 = 119番(携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

事後聞知 = 鎮火後に覚知したもの

	湿度	出 火 原 因 等			火 災 概 要
	(%)	発 火 源	経 過	着 火 物	
	81	不明	不明	その他	田畑の刈り取られた麦わらが、何らかの原因により焼損したものの。
	54	ガスこんろ	引火する	LPG (スプレー用)	共同住宅の台所において、調理中にヘアースプレーのガス抜きをしていたところ、ガスコンロの火がガスに引火し、換気扇のフードカバーを焼損したものの。
	74	不明	不明	枯草	金溪川左岸沿いにおいて、刈り取られた草が何らかの原因により焼損したものの。
	63	不明	不明	その他	ゴルフ場敷地内の集積場において、芝かす、切り株、枯れ枝が何らかの原因により焼損したものの。
	54	タイヤと路面との摩擦	摩擦により発熱する	タイヤ	国道を走行中のトラックの左後輪周辺と積載されたフォークリフトを焼損したものの。
	49	その他の熱で熱せられたもの	過熱する	その他	町道を走行中の普通自動車が電柱に衝突し、車両のエンジンルームの一部が焼損したものの。
	65	不明	不明	不明	住宅の2階を何らかの原因により焼損したものの。

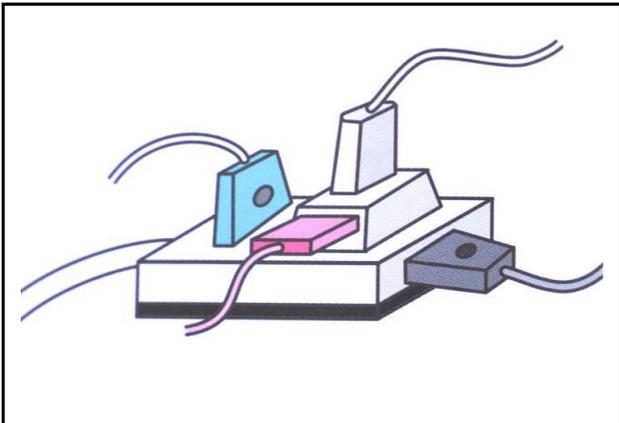
絵で見る火災原因（14件）



枯草焼き 2件



内燃機関等 3件



電気器具 2件



火遊び 1件



たばこ 1件



その他・不明 5件

救急、救助



毎年開催される消防救助技術東海地区指導会に向けた訓練を行っています。令和3年はロープブリッジ渡過訓練、ほふく救出訓練に加え山岳救助技術を発表する訓練も実施しました。この指導会に出場するため隊員は訓練を重ね、救助技術の向上に努めています。新型コロナウイルス感染症の影響で指導会は中止となりましたが、消防本部内での発表会を実施しました。

救助訓練発表会

令和3年7月12日

於：菰野町消防本部

救 急

令和3年中の救急出動件数は1,458件、搬送人員は1,413人でした。1日あたり平均4.0件の出動で、町民29人に1人の割合で救急車が利用されたこととなります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が966件(66.2%)で最も多く、続いて一般負傷が253件(17.4%)、交通事故が123件(8.4%)、その他が116件(8.0%)となりました。

救急件数及び搬送人員が対前年比で増加しました。これは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う衛生意識の向上や不要不急の外出自粛といった行動変容により、救急事案が減少傾向にありましたが、ワクチン接種が進み、新しい生活様式を取り入れることで、徐々に日常を取り戻し始めたことが要因の1つではないかと考えられます。

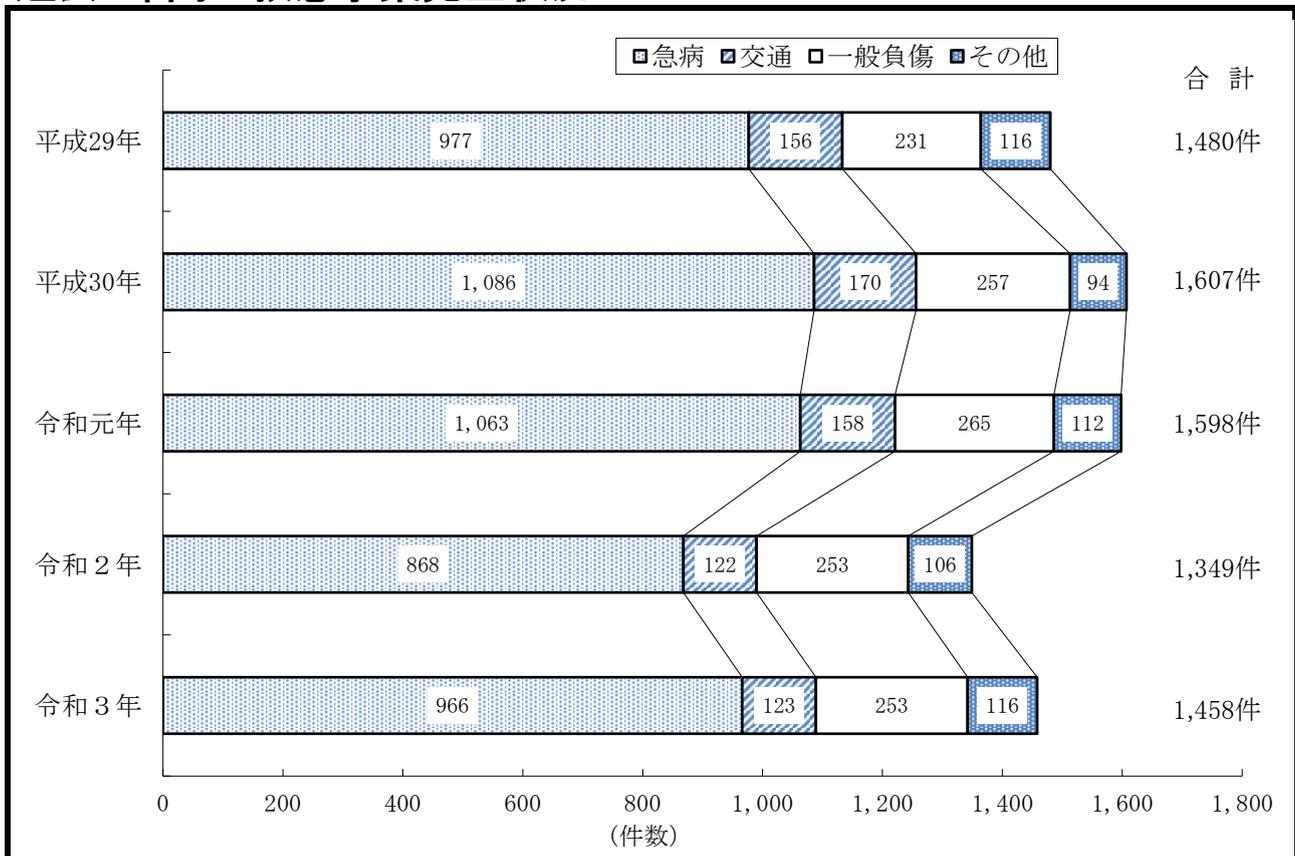
救急事案発生状況

区 別		年 別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 国	救急件数		6,342,147	6,605,213	6,639,767	5,933,277	
	発生率		499	520	523	473	
三 重 県	救急件数		94,160	100,560	98,919	87,314	
	発生率		519	554	545	493	
菰 野 町	救急件数		1,480	1,607	1,598	1,349	1,458
	発生率		354	384	383	324	352

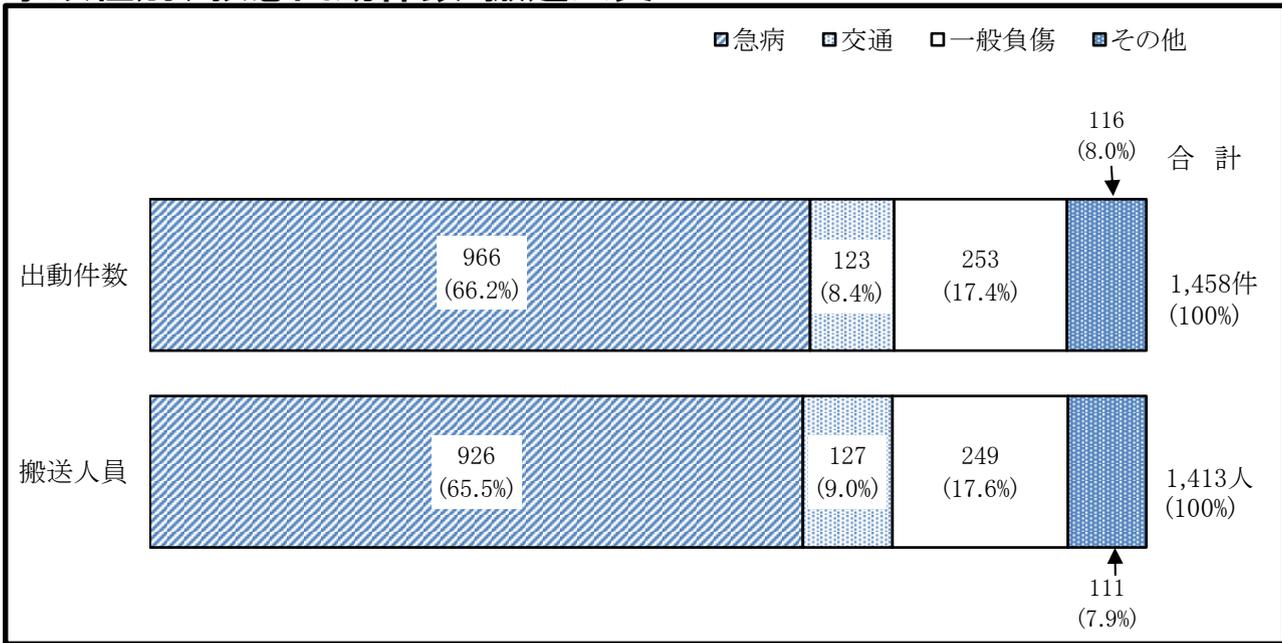
※発生率=人口1万人あたりの発生件数

菰野町人口 41,476人(令和3年12月31日現在)

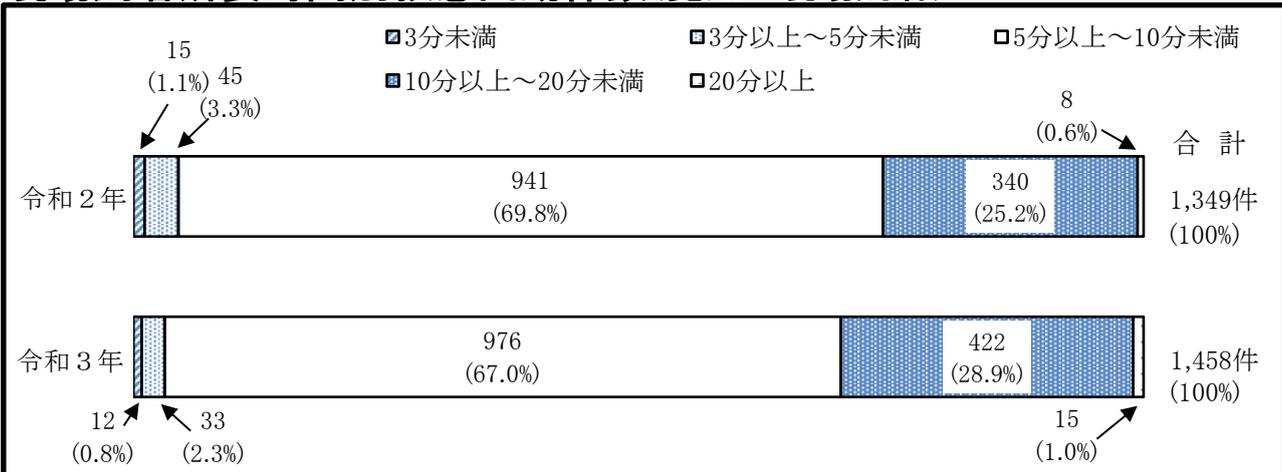
過去5年間の救急事案発生状況



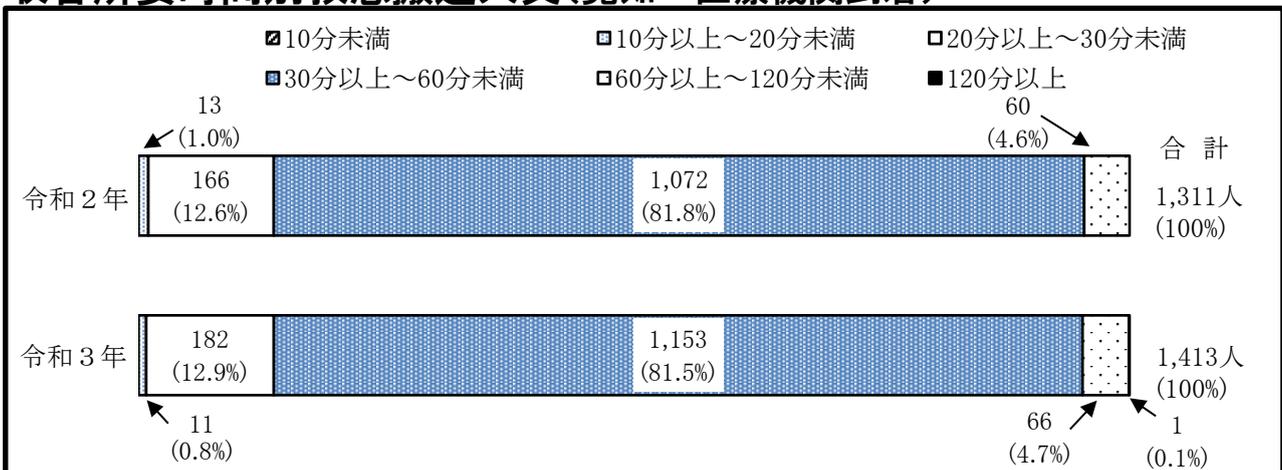
事故種別、救急出動件数・搬送人員



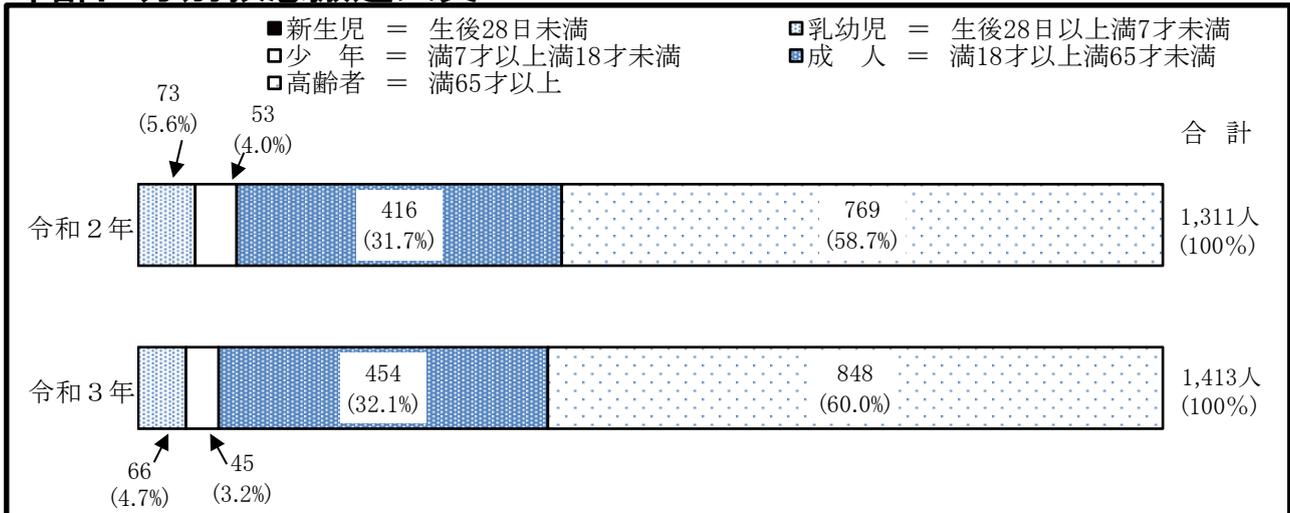
現場到着所要時間別救急出動件数(覚知～現場到着)



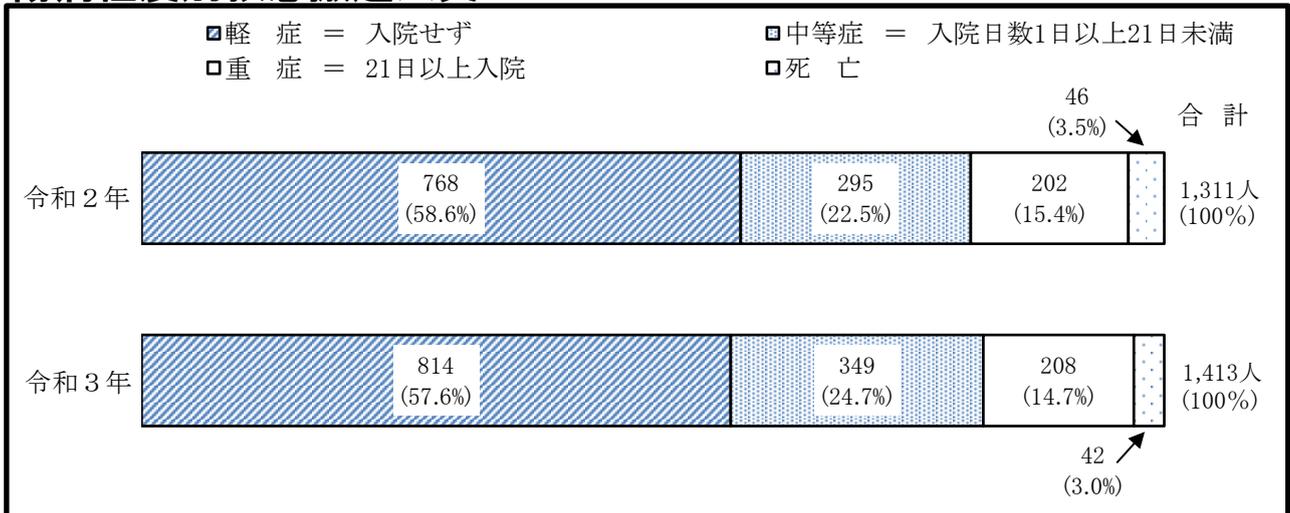
収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



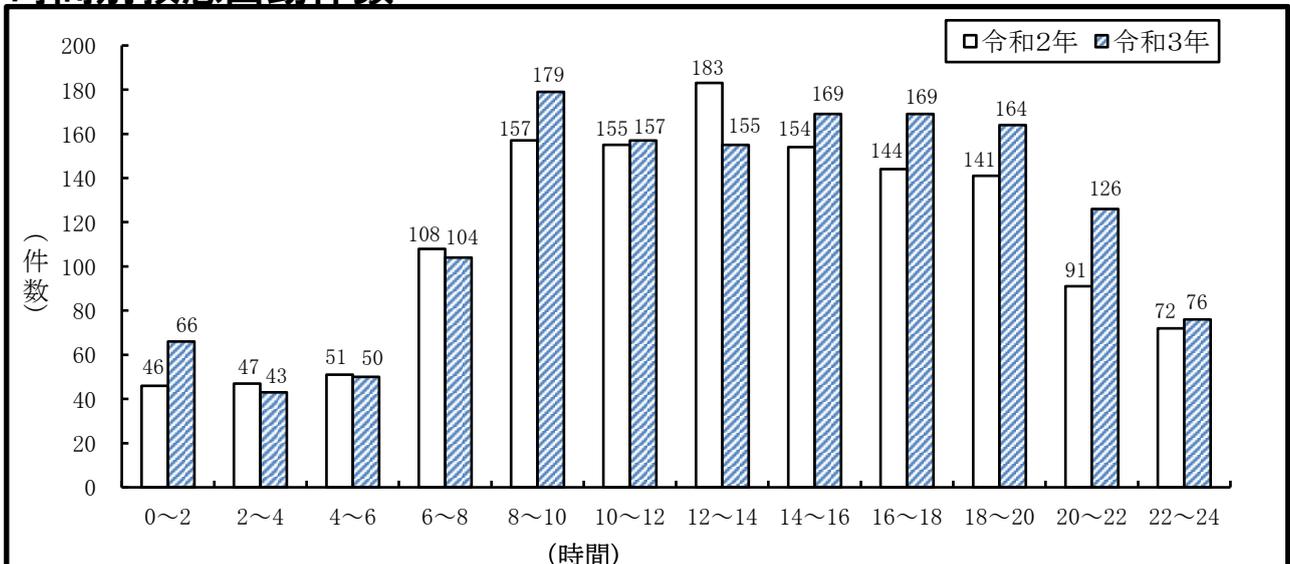
年齢区分別救急搬送人員



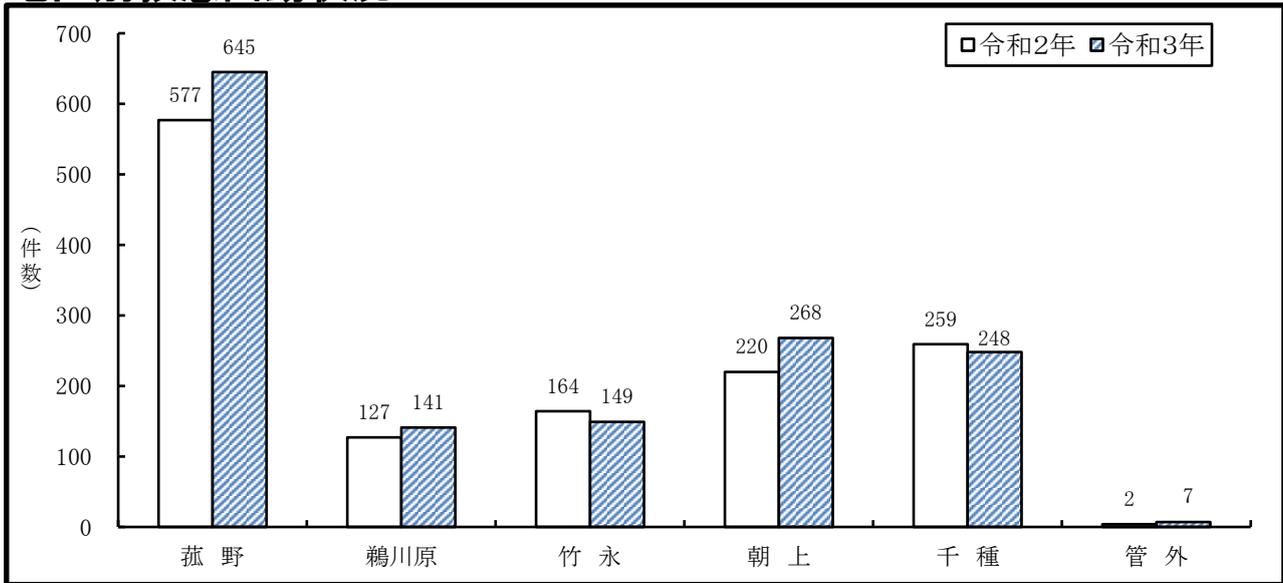
傷病程度別救急搬送人員



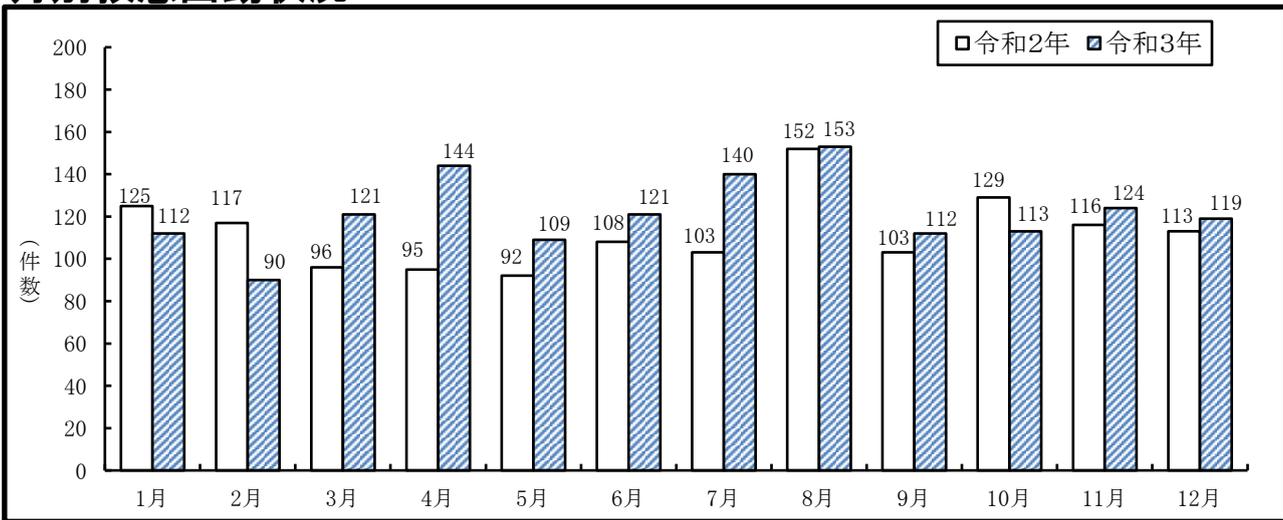
時間別救急出動件数



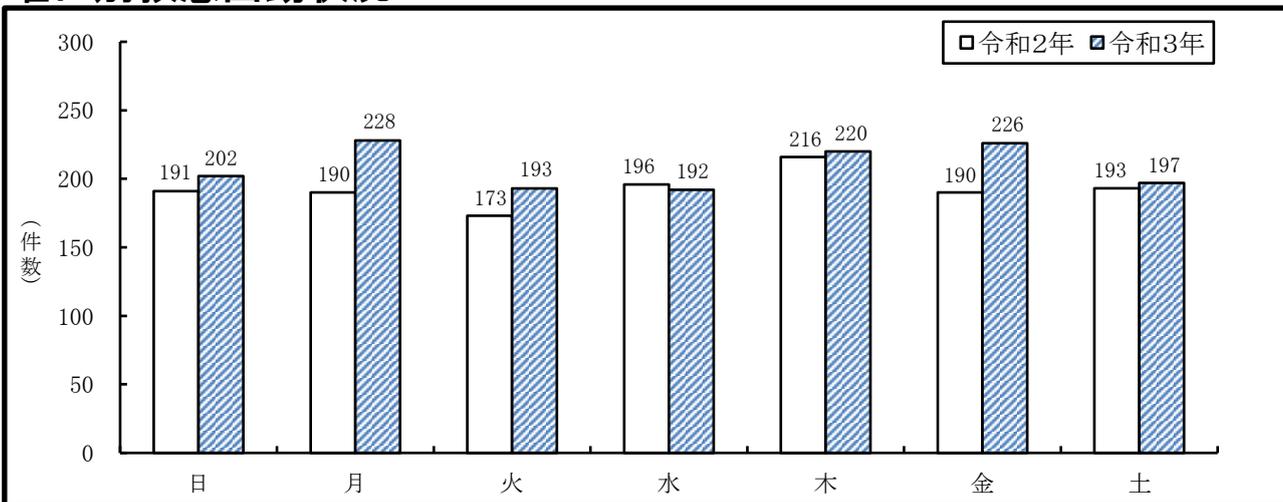
地区別救急出動状況



月別救急出動状況



曜日別救急出動状況



年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	令和3年 合計	令和2年 合計
死亡			1	6	35	42	46
重症		1	2	45	160	208	202
中等症		13	6	71	259	349	295
軽症		52	36	332	394	814	768
その他							
合計		66	45	454	848	1,413	1,311

事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和3年 合計	令和2年 合計
新生児													
乳幼児				2			20			44		66	73
少年				8		9	10		1	16	1	45	53
成人	1			90	16	1	45	8	7	267	19	454	416
高齢者				27	2		174	1	1	599	44	848	769
合計	1			127	18	10	249	9	9	926	64	1,413	1,311

事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和3年 合計	令和2年 合計
死亡				1			1		1	36	3	42	46
重症				10	3		39		2	127	27	208	202
中等症				12	4	2	47	2	2	253	27	349	295
軽症	1			104	11	8	162	7	4	510	7	814	768
その他													
合計	1			127	18	10	249	9	9	926	64	1,413	1,311

事故種別、時間別救急出動件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	令和3年合計	令和2年合計
休日					14		3	46	2	2	129	1	197	241
休日以外の日		1			109	19	7	207	7	9	837	65	1,261	1,108
時間内	0～2				3	1		3		2	55	2	66	46
	2～4				1			5			37		43	47
	4～6				3			7			40		50	51
	6～8				11			17	1	1	74		104	108
	8～10				15	3		34	3		118	6	179	157
	10～12				17	5	3	23	1	1	95	12	157	155
	12～14				8	1	2	36	1	1	89	17	155	183
	14～16		1		15	3	4	34		1	102	9	169	154
	16～18				20	5		26	1	1	102	14	169	144
	18～20				20		1	28	1	2	109	3	164	141
	20～22				9	1		30	1		83	2	126	91
22～24				1			10		2	62	1	76	72	
令和3年計		1			123	19	10	253	9	11	966	66	1,458	
令和2年計					122	22	9	253	1	15	868	59		1,349

事故種別、応急処置件数

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
止血	7	12	53	11	83
固定	15	94	111	20	240
人工呼吸	9				9
心肺蘇生	34	1	1	1	37
酸素吸入	223	12	8	34	277
気道確保	39	1	2	1	43
気道確保（特定行為）	7				7
保温	296	26	76	35	433
被覆	13	20	68	12	113
除細動	4				4
静脈路確保	34	2		1	37
薬剤投与	17	1			18
ブドウ糖投与	3				3
その他	3,231	399	688	323	4,641
合計	3,932	568	1,007	438	5,945

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上

※その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等を計上

事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		令和3年合計		令和2年合計	
	開設別		うち 管外											
救急告示医療機関	国立												1	1
	公立		572	572	68	68	126	126	80	80	846	846	803	803
	公的		291	77	55	32	109	50	23	12	478	171	440	151
	私的	病院	53	53	4	4	14	14	5	5	76	76	60	60
		診療所												
	計		916	702	127	104	249	190	108	97	1,400	1,093	1,304	1,015
その他の医療機関	国立												1	1
	公立													
	公的		1	1							1	1		
	私的	病院	5	5					2	2	7	7	3	3
		診療所	4	4					1	1	5	5	3	3
	計		10	10					3	3	13	13	7	7
計	国立												2	2
	公立		572	572	68	68	126	126	80	80	846	846	803	803
	公的		292	78	55	32	109	50	23	12	479	172	440	151
	私的	病院	58	58	4	4	14	14	7	7	83	83	63	63
		診療所	4	4					1	1	5	5	3	3
	計		926	712	127	104	249	190	111	100	1,413	1,106	1,311	1,022
その他の場所	接骨院等													
	その他													
	計													
令和3年計			926	712	127	104	249	190	111	100	1,413	1,106		
令和2年計			826	644	140	109	243	182	102	87			1,311	1,022

救 助

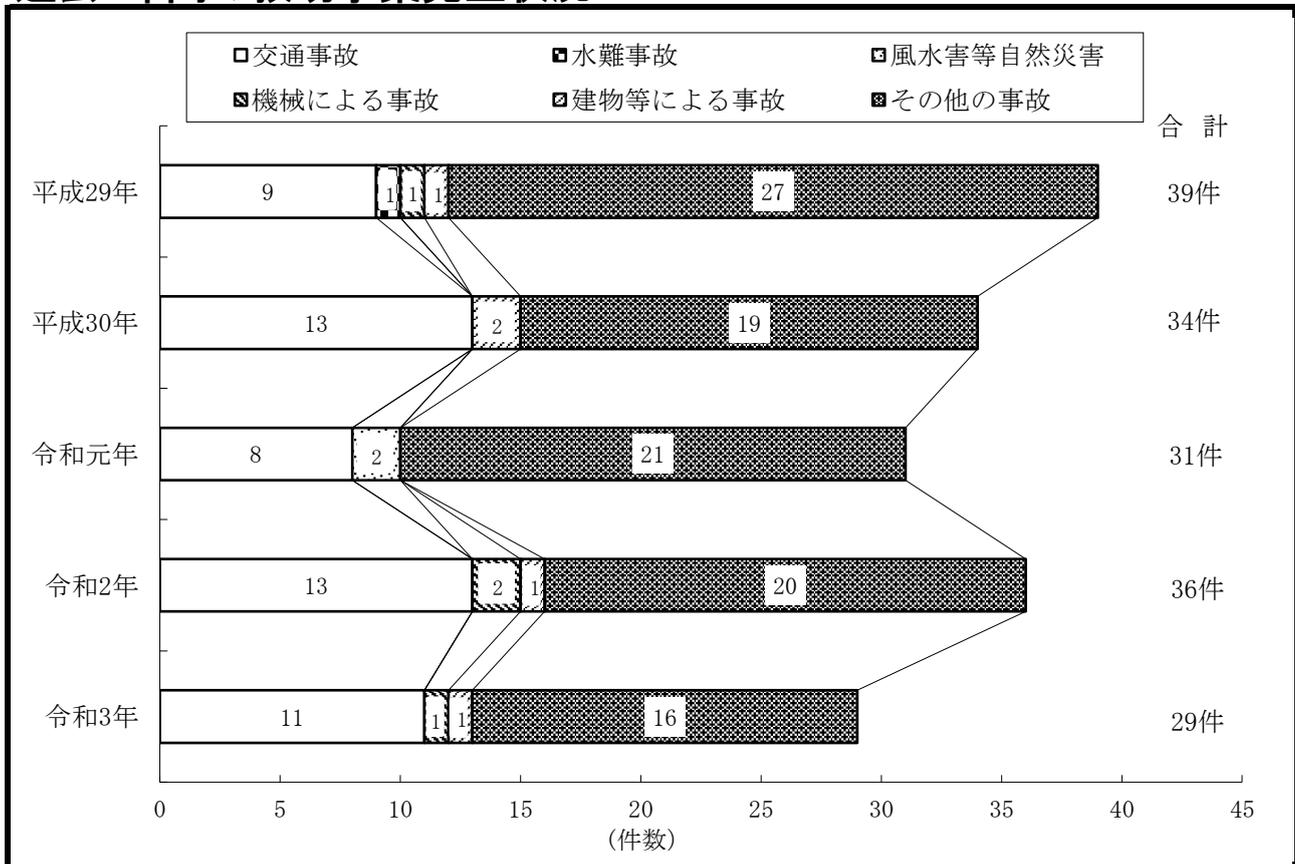
令和3年中の救助出動件数は29件、救助人員は31人でした。

救助件数を事故種別で見ると、その他の事故16件(うち山岳救助11件)が最も多く、交通事故が11件、機械による事故が1件、建物等による事故が1件となりました。

救助事案発生状況

年 別		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
区 別						
全 国	救助出動件数	92,336	97,429	96,424	93,989	
	救助活動件数	56,315	61,507	61,340	59,977	
	救助人員	57,664	63,836	63,670	57,952	
三 重 県	救助出動件数	902	876	924	878	
	救助活動件数	560	582	606	575	
	救助人員	664	620	725	633	
菰 野 町	救助出動件数	39	34	31	36	29
	救助活動件数	23	25	22	25	23
	救助人員	24	31	24	26	31

過去5年間の救助事案発生状況



事故種別、救助出動件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 3 合 計	和 年 計	令 2 合 計	和 年 計
	建 物	他												
出 動 件 数			11			1	1			16		29		36
救 助 人 員			12							19		31		26

※管轄外の出動件数含む

事故種別、救助出動人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 3 合 計	和 年 計	令 2 合 計	和 年 計
	建 物	他												
救 助 隊 員			44			4	4			72		124		151
消 防 隊 員			12									12		18
救 急 隊 員			39			3	3			21		66		87
合 計			95			7	7			93		202		256

事故種別、救助出動車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 3 合 計	和 年 計	令 2 合 計	和 年 計
	建 物	他												
救 助 工 作 車			11			1	1			5		18		20
タ ン ク 車														
ポ ン プ 車			4									4		6
救 急 車			13			1	1			7		22		29
指 揮 車										1		1		
広 報 車										11		11		16
資 機 材 搬 送 車														1
そ の 他 の 車 両										1		1		2
合 計			28			2	2			25		57		74

※その他の車両とは、査察車と防災広報車

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
1	交 通	1 月 6 日 (水) 8 時 15 分	鶉 川 原 (下 村)	報 知 電 話	
2	そ の 他 (山 岳)	1 月 30 日 (土) 15 時 37 分	菰 野 (湯 の 山)	報 知 電 話	
3	交 通	2 月 19 日 (金) 15 時 12 分	竹 永 (竹 成)	報 知 電 話	
4	交 通	3 月 15 日 (月) 15 時 44 分	新名神高速道路上り	報 知 電 話	
5	交 通	4 月 3 日 (土) 6 時 52 分	菰 野 (神 森)	報 知 電 話	
6	そ の 他 (山 岳)	4 月 3 日 (土) 7 時 52 分	菰 野 (湯 の 山)	報 知 電 話	
7	そ の 他 (山 岳)	4 月 15 日 (木) 18 時 14 分	菰 野 (湯 の 山)	報 知 電 話	
8	そ の 他	4 月 18 日 (日) 13 時 02 分	菰 野 (神 森)	報 知 電 話	
9	交 通	4 月 20 日 (火) 7 時 20 分	千 種 (潤 田)	報 知 電 話	
10	交 通	4 月 22 日 (木) 18 時 27 分	竹 永 (竹 成)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)
 加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
ポンプ車 救助工作車 救急1号車	10	普通乗用車と軽四トラックの衝突事故により、軽四トラックが横転し、車内に閉じ込められている。	救助の必要はなかったため、救急隊の活動支援を行い担架にて搬送した。
広報車 救急1号車	7	御在所岳裏道登山道を下山中に転倒し、左肩を負傷した。	介添え搬送で登山口まで搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	軽四自動車と普通乗用車の衝突事故により、軽四自動車が横転し、2名が車内に閉じ込められている。	車両固定後、後部ドアから救助隊進入し、救急隊と連携し担架にて車外に救出し、搬送した。
ポンプ車 救助工作車 救急1号車 救急2号車	14	大型トラックに中型トラックが衝突し、中型トラックの2名が挟まれている。	油圧器具にて1名救出、可搬式ウインチにて開放後もう1名を救出し搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	普通乗用車の単独事故。 車両が横転し車内に閉じ込められている。	車両固定後、人力にてドアを開放し介添えにて救出し担架にて搬送。
広報車 指揮車	8	御在所岳本谷登山道上にて3m滑落し、左足を負傷した。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
広報車	4	御在所岳山頂にて3m滑落し、両足を負傷した。	介添え搬送で登山口まで搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	用水路に転落し上がれない。	人力にて引揚げた後、担架にて搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	普通乗用車同士の衝突事故により1台が横転し、車内に閉じ込められている。	すでに車外へ出ており、救助の必要はなかった。漏油を確認したため除去を行った。
ポンプ車 救助工作車 救急1号車	9	カーブにてマイクロバスと軽自動車の接触事故により、軽自動車が横転し、2名が車内に閉じ込められている。	車両固定後、1名を背負い搬送にて救出、もう1名は救急隊が介添えにて救出し搬送した。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
11	そ の 他	5 月 1 日 (土) 7 時 44 分	朝 上 (小 島)	報 知 電 話	
12	そ の 他 (山 岳)	5 月 4 日 (火) 13 時 45 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
13	建 物 等	6 月 15 日 (火) 17 時 05 分	菰 野 (菰野第二区)	報 知 電 話	
14	そ の 他 (山 岳)	7 月 18 日 (日) 10 時 12 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
15	交 通	7 月 18 日 (日) 23 時 22 分	鵜川原 (下 村)	報 知 電 話	
16	そ の 他	7 月 20 日 (火) 10 時 16 分	四日市市 (管 外)	報 知 電 話	
17	交 通	7 月 26 日 (月) 17 時 45 分	四日市市 (管 外)	報 知 電 話	
18	交 通	8 月 20 日 (金) 18 時 16 分	菰 野 (菰野第三区)	報 知 電 話	
19	そ の 他	8 月 26 日 (木) 12 時 18 分	菰 野 (菰野第一区)	報 知 電 話	
20	そ の 他 (山 岳)	8 月 27 日 (金) 14 時 25 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)
 加 入 電 話 = 一般加入電話

出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
救助工作車 救急1号車	7	田植え中に田植え機から落ち、機械の下敷きになり動けなくなった。	救急隊により人力にて救出し搬送した。
広報車	4	御在所岳裏道登山道下山中に5m滑落し、前額部、口腔内及び左足を負傷した。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	家の中に子供2名が閉じ込められている。	建物の窓ガラスを破壊した際に、建物内部より子供が自力で開錠したため救急隊に引き継いだ。
広報車 救急1号車	7	御在所岳中道登山道を登山中に胸が苦しく動けなくなった。	レスキューハーネスにて搬送し救出した。
救助工作車 救急1号車	7	軽四自動車による単独自損事故により車両が横転し、車内に閉じ込められている。	救急隊と連携し、担架にて救出し搬送した。
救助工作車 救急2号車	7	重機で法面の草を刈り取り中に転落し、機内に閉じ込められている。	漏油を除去し、重機の窓をガラスカッターにて破壊後、介添えにて救出した。
救助工作車 救急2号車	7	軽四自動車同士の衝突事故により1台転落し、車内に閉じ込められている。	四日市中央分署消防隊及び四日市西分署救急隊と連携し、担架にて救出し搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	軽四自動車と普通乗用車の衝突事故により、軽四自動車内に閉じ込められている。	自力で車外に出ており救助の必要性がないため現場到着前に引揚げ。
救助工作車 救急1号車	7	屋根から転落し、土留めと外壁の間に挟まって抜け出せなくなった。	人力にて救出し搬送した。
広報車	4	御在所岳一の谷新道下山中に道に迷い動けなくなった。	自力歩行可能であり、共に下山し警察に引き継いだ。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
21	その 他 (山 岳)	10 月 2 日 (土) 14 時 49 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
22	その 他 (山 岳)	10 月 14 日 (木) 16 時 08 分	朝 上 (切 畑)	報 知 電 話	
23	その 他 (山 岳)	10 月 16 日 (土) 11 時 36 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
24	機 械	10 月 29 日 (金) 11 時 23 分	菰 野 (菰野第一区)	報 知 電 話	
25	交 通	11 月 11 日 (木) 10 時 20 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
26	その 他 (山 岳)	11 月 14 日 (日) 15 時 15 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
27	その 他	11 月 27 日 (土) 22 時 39 分	朝 上 (田口新田)	報 知 電 話	
28	その 他 (山 岳)	12 月 5 日 (日) 13 時 29 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
29	交 通	12 月 31 日 (金) 11 時 12 分	朝 上 (小 島)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)
 加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

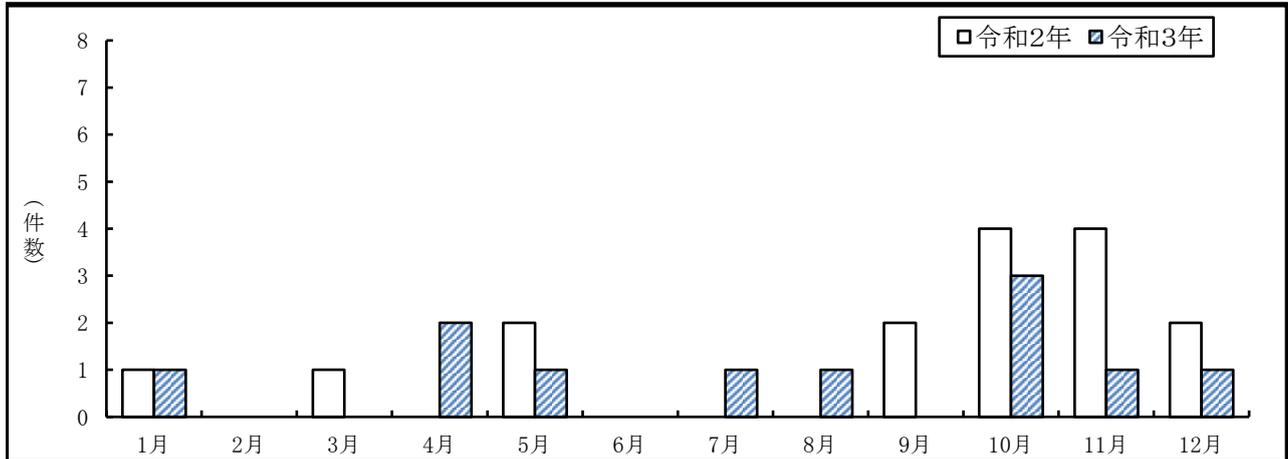
	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	御在所岳裏道登山道を下山中に両足の痙攣が起こり、動けなくなった。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで介添えにて搬送後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	広報車	4	福王山を下山中に道に迷い動けなくなった。	自力歩行可能であり、共に下山し警察に引き継いだ。
	広報車 公用車	8	御在所岳中尾根にてクライミング中に約8m程滑落し、頭部を負傷した。	応急処置後、ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	救助工作車 救急1号車	7	機械に誤って右手の手指が挟まれた。	挟まれておらず、救助の必要はなかったため、情報収集し引揚げた。
	救助工作車 救急2号車 救急3号車	10	ブレーキとアクセルの踏み間違いにより、約5m転落し、車内から3名が出られない。	ガラスカッターを使用してスペースを作り担架にて救出後、三連梯子にて高所から地上へ降ろし搬送した。
	広報車 救急1号車	7	鎌ヶ岳下山中に転倒し、両手首を負傷した。	自力で下山しており、救急隊へ引継いだ。
	救助工作車 救急1号車	7	誤って道路脇の水路へ転落した。	救急隊と連携し、担架にて救出し搬送した。
	広報車	4	御在所岳一の谷新道を下山中に足を滑らせ、約50m程滑落し、首を負傷した。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	救助工作車 救急1号車 ポンプ車	10	軽四自動車と普通乗用車の衝突事故により、軽四自動車内に閉じ込められている。	自力で車外に出ており、救助の必要性なし。

山岳救助

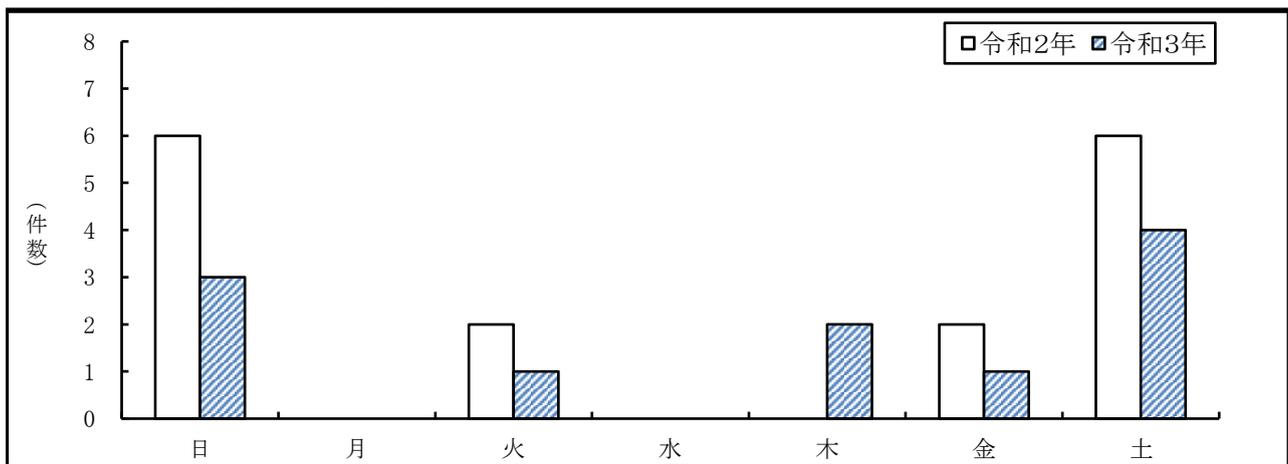
当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから年間を通して山岳救助事案が多く発生しています。

山岳救助事案の半数が三重県防災航空隊の防災ヘリコプターと連携し救助活動を行います。山岳救助の出動から救助完了までの平均活動時間は2時間15分であり、最長活動時間は6時間19分を要しました。

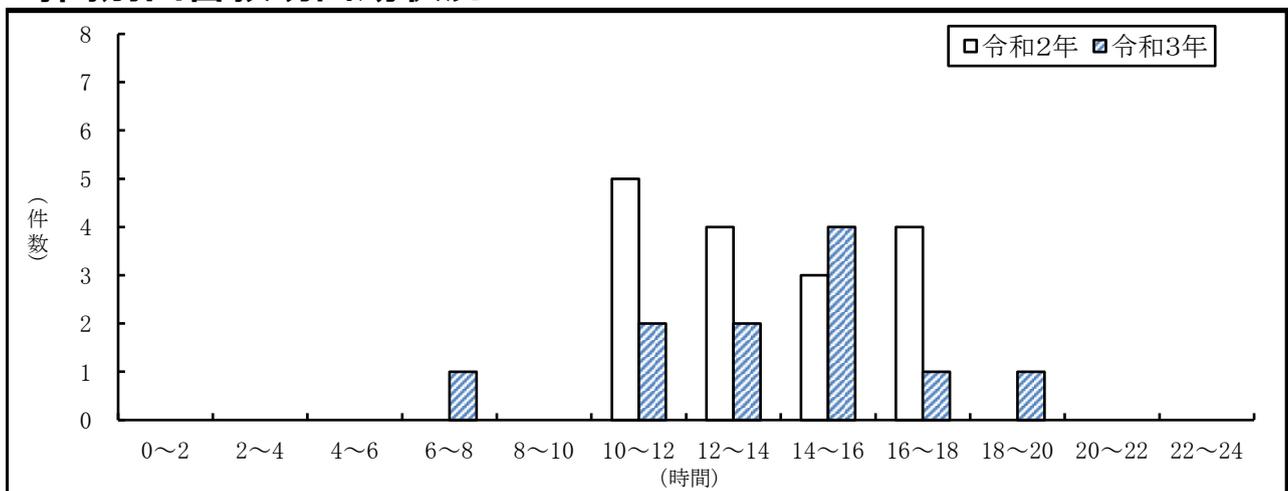
月別山岳救助出動状況



曜日別山岳救助出動状況



時間別山岳救助出動状況



気象、通信、その他



交通事故の際、要救助者が挟まれている場合や車のドアが開閉出来ない場合などには、車を破壊して救助活動を行う必要があるため、消防署にて車両破壊訓練を行いました。

車両破壊訓練

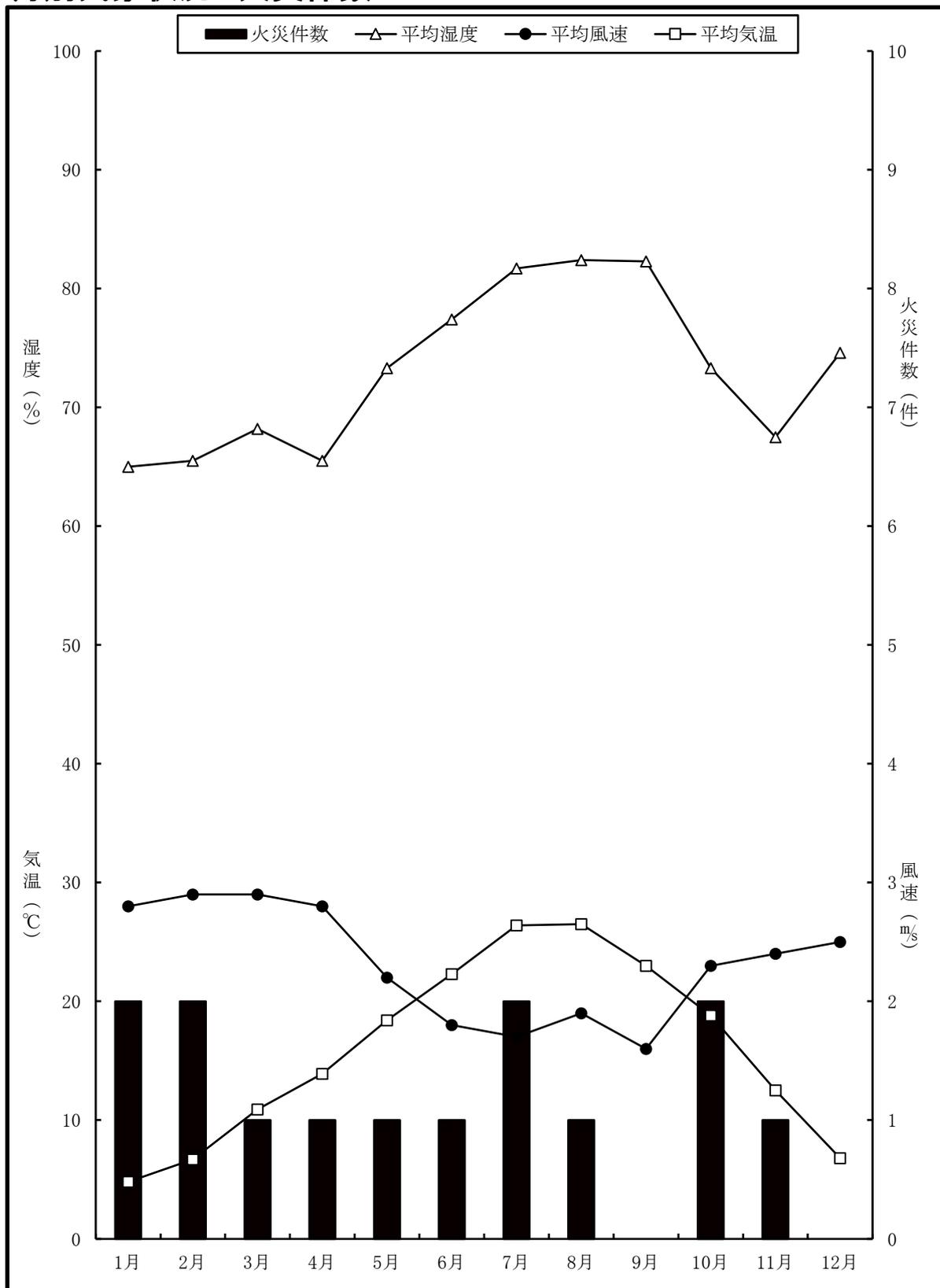
令和3年8月25日

於：菰野町消防本部

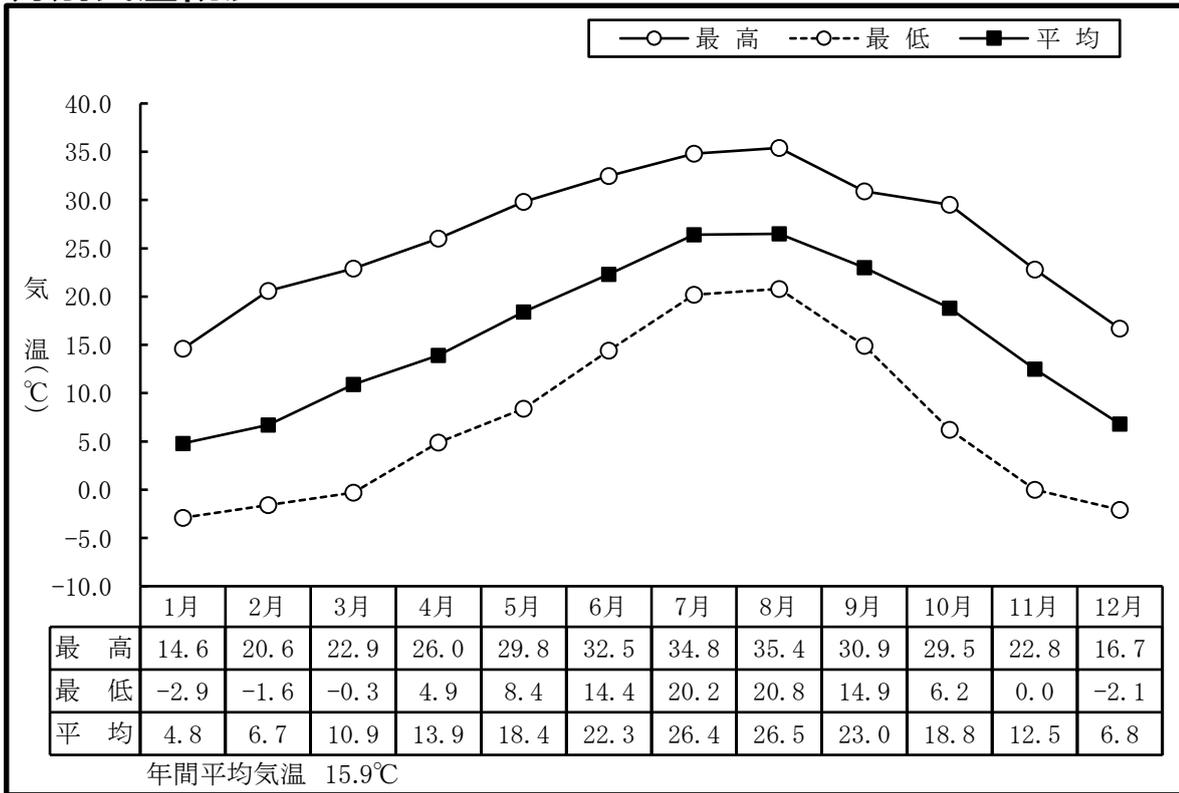
気象

気象観測システムによる自動定時観測（風速、気温、湿度、降水量等）を行っています。また台風、豪雨や警報発表時には定時以外においても必要に応じた観測体制をとっています。

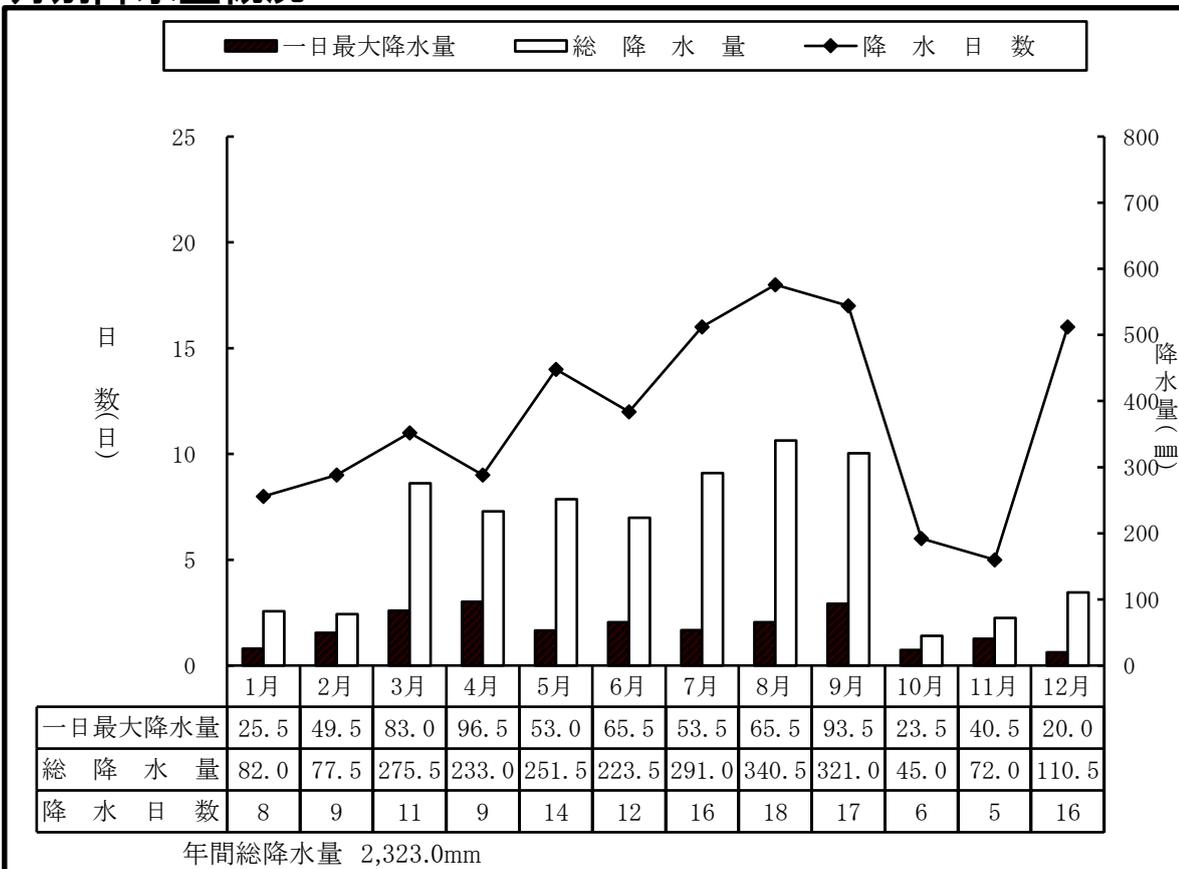
月別気象状況と火災件数



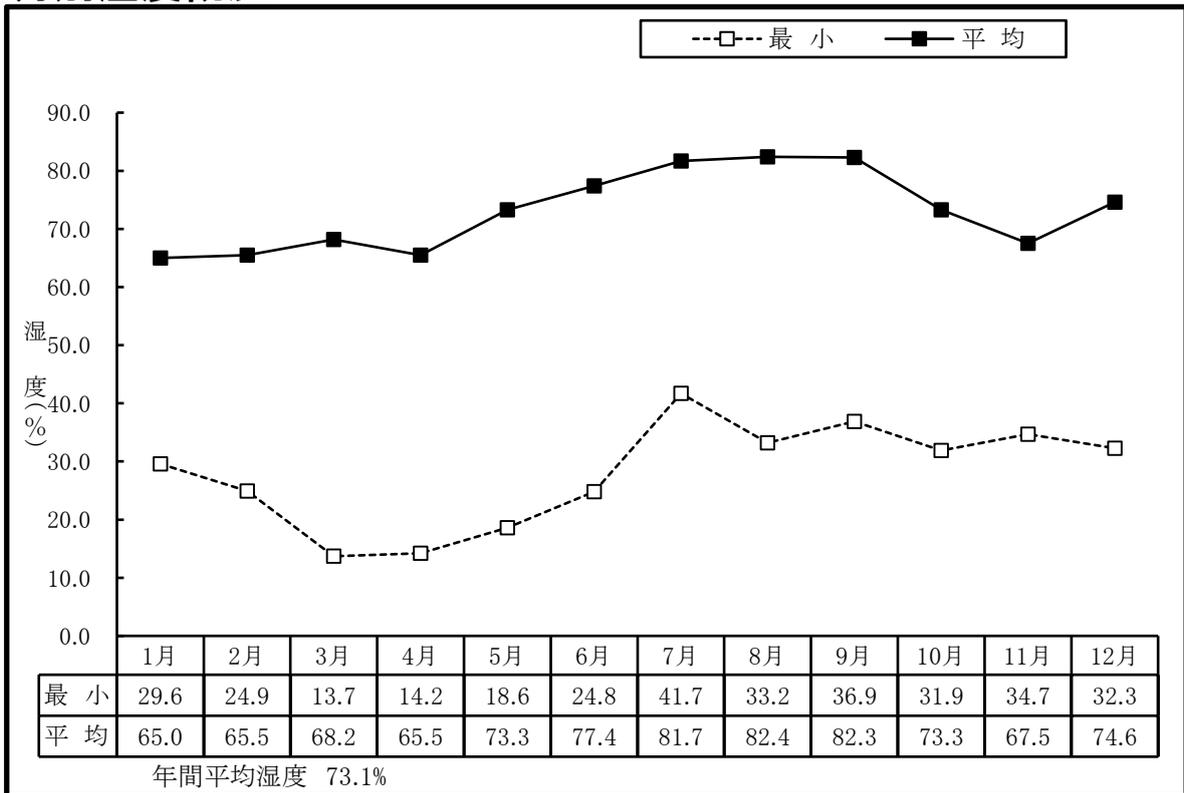
月別気温概況



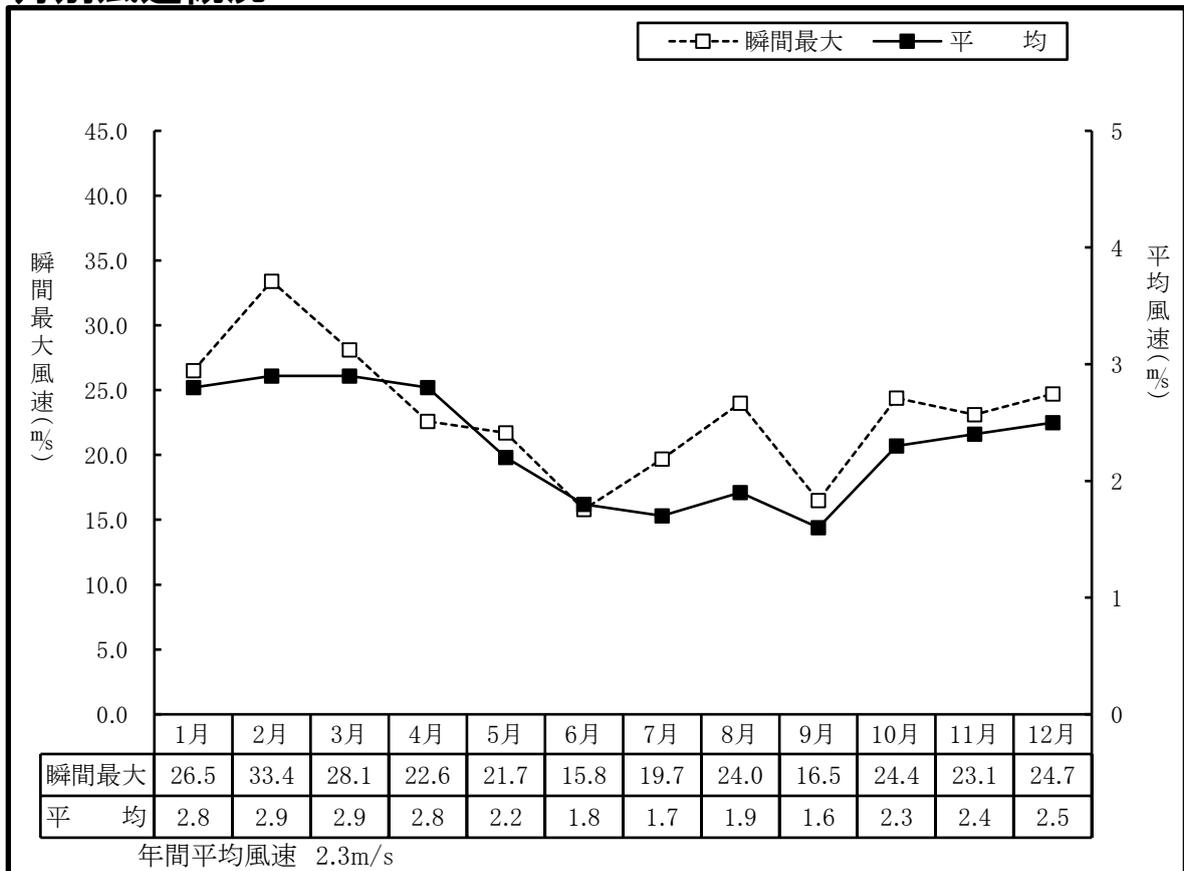
月別降水量概況



月別湿度概況



月別風速概況



気象通報受信状況

気象通報		月 別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
特別警報	暴風特別警報													
	暴風雪特別警報													
	大雨特別警報													
	大雪特別警報													
警報	暴風警報													
	暴風雪警報													
	大雨警報								1					1
	大雪警報												1	1
	洪水警報													
注意報	風雪注意報	1											2	3
	強風注意報	1	2	2			1		1	1	1		1	10
	大雨注意報				1	1	1	5	6	2				16
	大雪注意報	1	2										4	7
	洪水注意報							1	1					2
	着雪注意報												2	2
	乾燥注意報	1	2	1	3									7
	濃霧注意報	1		1	2	6		2		2				14
	霜注意報			11	4									15
	なだれ注意報													
	融雪注意報													
	低温注意報	5	3										1	9
	着氷注意報													
	雷注意報	3	3	5	6	6	10	8	6	5	3	5		60
竜巻注意情報			1		1		2					1	5	
高温注意情報							5	27					32	
火災気象通報		4	6	3	8					1	1		3	26
三重県気象情報	雷と突風に関する情報			1	3			7	2	12		9	5	39
	雷と突風及び降ひょうに関する情報				2	2		9			3			16
	雷に関する情報	1												1
	大雪に関する情報	3										16		19
	強風と大雪に関する情報											3		3
	高波に関する情報	1							2					2
	大雨と雷及び突風に関する情報			8	2		1	1	20	8	4		2	46
	大雨と高波及び突風に関する情報			2										2
	大雨と高波及び雷に関する情報		3											3
	大雨に関する情報			2	8	12	4	8	2		2			38
台風第9号に関する情報								3					3	
台風第10号に関する情報								4					4	
台風第14号に関する情報									8				8	
台風第16号に関する情報									4	2			6	
記録的短時間大雨情報														
土砂災害警戒情報														

注1) 同一種類の警報・注意報を継続する場合に発表された警報・注意報は回数に含めない。

注2) 竜巻注意情報は、三重県北中部を対象に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。

注3) 火災気象通報は、三重県北部を対象に発表された回数を示す。

注4) 土砂災害警戒情報は、菟野町に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。

通信指令

菰野町と四日市市、桑名市の3消防本部は、平成28年4月1日から 四日市市、桑名市及び三重郡菰野町消防通信指令事務協議会を設置して、四日市市消防本部中消防署中央分署内に三重北消防指令センターを整備し、消防通信指令事務の共同運用を行っています。

三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況

種別 消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
菰野町	31	1,411	30	22	1	181	165	167	7	2,015
四日市市	170	14,014 【4】	104	229	11	2,028 【1】	1,477	1,446	145	19,624 【5】
桑名市	161	8,685 (1)	54	96	2	1,110	837	726	71	11,742 (1)
合計	362	24,110 【4】(1)	188	347	14	3,319 【1】	2,479	2,339	223	33,381 【5】(1)

※【 】はFAX119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況

種別 月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
1	2	111	2	2		15	7	13		152
2	2	83	1	2	1	11	17	9		126
3	9	113	1	3		16	23	14		179
4	1	137	4	2		21	14	17	1	197
5	3	106	1			14	14	13		151
6	2	116	2	2		9	8	15	3	157
7	5	144	6	1		22	13	14		205
8	1	147	2	4		13	4	17	1	189
9		107		1		14	20	14		156
10	2	116	4	3		15	21	15	1	177
11	3	111	5			16	17	17	1	170
12	1	120	2	2		15	7	9		156
合計	31	1,411	30	22	1	181	165	167	7	2,015

※【 】はFAX119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況

種別 回線	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
119	固定	5	203			22	128	19		377
	I P	4	452	2	3	20	22	38		541
	携帯	22	756	28	19	139	15	110	7	1,097
	FAX									0
Net119										0
合計	31	1,411	30	22	1	181	165	167	7	2,015

通報は重複通報含む。

災害件数の推移

区分 年	火災（件）	救急（件）	救助（件）	人口（人）
昭和 60 年	11	308	3	31,099
昭和 61 年	23	442	3	31,546
昭和 62 年	15	434	7	31,949
昭和 63 年	15	497	9	32,218
平成 元年	13	569	12	32,443
平成 2 年	9	595	6	32,942
平成 3 年	17	573	6	33,504
平成 4 年	13	558	8	33,902
平成 5 年	6	641	10	34,362
平成 6 年	15	684	10	35,137
平成 7 年	23	694	17	36,036
平成 8 年	30	779	11	36,801
平成 9 年	36	684	12	37,402
平成 10 年	18	705	19	37,785
平成 11 年	21	746	16	38,229
平成 12 年	18	895	23	38,713
平成 13 年	25	995	19	38,939
平成 14 年	21	1,018	9	39,074
平成 15 年	23	1,096	28	39,155
平成 16 年	12	1,091	29	39,494
平成 17 年	23	1,195	33	39,989
平成 18 年	20	1,187	21	40,274
平成 19 年	21	1,248	21	40,550
平成 20 年	19	1,266	23	40,784
平成 21 年	16	1,208	25	40,977
平成 22 年	15	1,242	32	41,025
平成 23 年	9	1,360	22	41,171
平成 24 年	17	1,396	24	41,311
平成 25 年	22	1,473	17	41,329
平成 26 年	19	1,451	19	41,419
平成 27 年	12	1,433	32	41,540
平成 28 年	14	1,452	36	41,803
平成 29 年	20	1,480	39	41,820
平成 30 年	13	1,607	34	41,738
令和 元年	8	1,598	31	41,610
令和 2 年	10	1,349	36	41,670
令和 3 年	14	1,458	29	41,390

※昭和60年の災害件数は消防本部発足（4月1日）からの数値

※人口は年度末の数値

令和4年版
消 防 年 報

発 行 日 令和4年8月

編集・発行 菰野町消防本部

〒510-1253

三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地

電 話 (059) 394-3211

F A X (059) 394-5766

E-mail komonofd@m3.cty-net.ne.jp